

○九鬼委員 次ノ點ヲ御伺ヒ致シマス、現在ノ——是ハ普通ノ銀行デアリマスガ、根本ノ御方針ヲ今モ一寸御察ノヤウデアリマシテ、大體一縣一行主義トモ申シマスカ、サウ云フ根本的ナ御考ヘヲ持ツテ居ラル、ヤウニ拜察致シマスガ、此ノ點ニ付テ私ハ、少シ一縣一行ト云フコトニ重キヲ置キ過ギテ居ラレルノデハナイカト思フノデアリマス、勿論サウ確定的ノモノデアリマセヌカラ、明確ニ申上ゲルコトハ出来マセヌガ、大體サウ云フ梓ニ因ハレ過ぎテ、却テ不自由ナコトニナツテ行クノデハナイカト云フ感ジガスルノデアリマス、ソコデ、此ノ根本ノ、斯ウ云フ不自由ナ御考ヘハ此ノ際一擲ヲセラレテ、本當ニ働キノアル銀行ヲ大ニイニ働カス、之ヲ第一ノ重點ニ置イテ御考ヘ又現ニサウ云フ傾向モ或ル部分デハ見受ケテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ方ナリ、隨テ活動モ段々低下シテ行クト云フヤウナ感ジガスルノデアリマス、一度繰返シシ言フト、働キノアル銀行ヲ大ニ活カシテ聲援ラスル、斯ウ云フ方ヲ特ニ憂慮ラスルノデアリマス、モウデアリマス、是モ色々見方ハアルダラウト思ヒマスガ、今日ノ産業狀態、今日ノ國內ノ大勢カラ眺メテ、或ル部分ニハサウデモナイ、之ヲ能ク視察ヲシテ見マスト、銀行方面カラ眺メタ一県一行、所謂ツノ「プロック」單位ノ考ヘヲ持ツテ居ルカト云フコトデアルナラバ、左様ナ考へハ只今ノ所持ツテ居リマセヌ

斯ウ云フ考ヘ方ハ、非常ニヨニニ効キ工合ヲ眺メテ、一ツ根本方針ヲ一變シテ、働キノアル銀行ヲ大イニ譲接ラスル、場合ニ依ツテハ相當ニ付テアリマスガ、此ノ根本ノ考ヘ方縣ニ數々殖ヤス、斯ウ云フコトニモナル譯デアリマスガ、此ノ根本ノ考ヘ方ニ付テ大藏大臣トシテノ御所見ヲ伺ヒタインデアリマス

○石渡國務大臣 一縣一行主義ト云フモノハ、昭和十一年馬場大藏大臣ノ際ニ、馬場大藏大臣ガ之ヲ提唱サレタノデアリマス、其ノ後一縣二行主義デ自分ハ行クンダト云フコトヲ表明セラレタ大藏大臣ト云フモノハナイノデアリマス、併シナガラ現實ノ問題ト致シマシテハ、私ハ今回七年振り大藏省に入ツテ見マスト、大體ガ一縣一行ヲ以テ建前トシテ總て合併ノ話ガ進メラレテ今日ニ至ツテ居ルノデアリマス、今度來テ見マスト、大抵ノ縣ハ一縣一行ニ相成ツテシマツテ居ルノデアリマス、是カラ考ヘマスルト、馬場大藏大臣ガ十年前ニ一縣一行主義ヲ唱ヘラレタ其ノ先見ノ明ニ付テハ全ク感服致ス、外ハゴザイマセヌ、結局客觀的ノ情勢テ今日ニ至ツテ居ルノデアリマス、今度來テ見マスト、大體ガ一縣一行ニ持チ來サレツツアルト思フノデアリマス、併シナガラ尙ホ全國ノ中數府縣ニ瓦ツテ一縣一行ニ相成ツテ居ラナイ縣ガ相當アリマス、是ハ前ノ御尋ニ對シテ御答ヘ致シマシタ通リ、却テ合併シタガ爲ニ能率ガ下ル、斯ウ云フヤウナ疑ヒノアルモノニ付キマシテハ、斯ウ云フ非常緊迫シタ際デアリマスカラ、強ヒテ合併ヲ懲諒致スノモ如何カト思ツテ差控ヘテ居ルモノモゴザイマス、ソレカラ又

銀行恐慌等ノ場合ニ於テ大藏省ガ色々
トノ銀行ニ賴ミモシ、命ジモシマシ
テ、サウシテ或ハ隣リノ府縣マデ整理
ヲ賴ソダ非常ニ整理ノ上手ナ銀行等モ
アルノデアリマシテ、サウ云フ銀行ガ
今一縣一行ダカラ此ノ際合併シテシマ
ヘ、左様ナコトハ中々言ヒ切レナイ關係
ニアルモノモアルノデアリマス、左
様デアリマスカラ、大藏省ハ一縣一行
デ行クノデアリマスガ、併シナガラ
シテシマヘ、斯様ナコトヲ言ツテ居ル
譯デハゴザイマセヌ、又左様ニ相成ツテ
ハ居ラヌノデアリマスガ、併シナガラ
客觀的事實トシテ、又ソヨニ幾分主觀
的ノ考ヘモ入りマシテ、今日大體各縣
ニ於テ一縣一行ノ實ヲ擧ゲテ居リマス
コトハ、私が申スマデモナイ所デアリ
マス、斯様ナコトカラ考ヘマスレバ、
特別ナ事情ノアリマスモノハ、是ハ已
ムヲ得ヌト致シマシテ、先づ大體ニ於
テ一縣一行デ纏メルト云コトガ、
今日先づ銀行界ノ一ツノ常識ニマデ相
成ツテ居ルト考ヘマスカラ、出來ル
ダケ左様ナコトニ則ツテ私モ進ンデ行
キタイト思ツテ居ルノデアリマス、但
シ勿論特殊ノ事情ノアルモノハ此ノ限
リデアリマセヌシ、又今アナタノ仰シ
ヤツタヤウナ、結局勧ケナイヤウナ狀
態ニ置クコトハイケマセヌカラ、最モ
勵キノアル銀行ハドノ銀行デアルカ、
ソレヲ見付ケ出スコトハ中々難カシイ
問題デモアリマスノデ、先づ一縦ニナ
ツテ、サウシテ大キクナル、同時ニ資
金ノ融通モ、萬事ガ非常ニ圓滑ニ行ク、
斯様ナ點カラ致シマシテ、左様ナ方
針ヲ繼續續行致シテ居ル次第アリマ
ス

ウ云フ意味デアリマスガ、斯ウ云フモ
ノヲ認メテ、所謂大或ハ中小、斯ウ云
フモノノ間隙カラ銀行ノ勵キヲ十分勵
カシメル、斯ウ云フコトモ必要デハナ
イカト思フノデアリマス、此ノ點ニ付
テ、勿論大銀行主義ト云フ明確ナ主義
ヲ立テ、居ラレルノデハナイノデアリ
マスルケレドモ、斯ウ云フ點モ今日ノ國
内ノ産業方面ノ動キノアル社會ニ對シ
テハ、比較的小サイ銀行モ非常ニ微妙
ナル勵キヲナス、斯ウ云フ感シヨモ受
ケルノデアリマス、斯ウ云フ點ニ付テ、
小サイ銀行モ本當ニ活カシテ行カウ、
大銀行ト並行シテ行カウ、斯ウ云フ問
題ヲ申上ゲテ御所見ヲ伺ヒタノニデア
リマス、大銀行必ズシモ良カラズ、又
小銀行必ズシモ不良ナラズ、斯ウ云フ
點ニ付テ、銀行モ一ツノ生物デアルト
私ハ考ヘマスノデ、時ニハ子供ヲ產ン
デ、ソレヲ大キク成育セシメル、其ノ
成育シテ行ク間ニ、本當ニ國家ニ貢獻
スル勵キガ出テ來ルモノデアルト考ヘ
ルノデアリマス、斯ウ云フ點ハ明確ニ
大銀行主義ト決マツタモノデハアリマ
セヌカラ、ハツキリシタ問題デハナイ
ノデアリマスルケレドモ、非常ニ複雜
ニ今日ノ社會狀態ガ動イテ居ル面ニ對
シテ、本當ニ行屆クヤウニスルノニ
ハ、小サイ銀行モ必要ダ、斯ウ云フ感
ジガスルノデアリマス、戰爭ニ於ケル
軍艦デモ戰艦、巡洋艦、驅逐艦、水雷
潛航艇ト云フヤウナモノガアルヤウ
ニ、斯ウ云フ風ニシテ推シテ行ケバ、
金融ノ本當ノ目的ガ微妙ニ達セラレ
ス、斯ウ云フ點ニ付テモ一應御所見ヲ

ハ隨分アツタノデアリマシテ、私共王
供ノ時分ニモ東京ノ下町ニ生レマシ
テ、小銀行ノ存在ニ付キマシテハ相當
ナ認識モ持ツテ居ツタノデアリマス、
大藏省ニ入リマシテカラモ、私ハ銀行
局ニ勤務致シタコトハゴザイマセヌ
ガ、銀行局ノ方面ニ對シマシテモ小銀
行ノ存在ノ理由ニ付テハ縷々色々ナ機
會ニ於テ意見ヲ申述べテ居ツタコトモ
アルノデアリマスガ、既ニ今日ニ於テ
ハ小銀行ハ存在致シテ居リマセヌ、中
銀行モ少クナツテ皆大キナ銀行ニナツ
テ來テ居ルノデアリマス、一縣一行トモ
云フヤウナ、其ノ一縣一行モ中々大キ
ナ銀行ニナツテ來テ居リマシテ、支那
事變前ノ第一流銀行ニ匹敵スルヤウナ
大キナ預金ヲ皆持ツテ來テ居ルノデア
リマス、大藏省ガ從來ノ經濟「バニツ
ク」ノ關係、ソレヲ經驗致シマシテ、
是ハドウシテモ小銀行ハ經濟ノ繫動
ノアル場合ニ耐ヘラレナイ、ドウシテ
モ是ハ大銀行ニシナケレバサウ云フヤ
ウナ難局ヲ突破シテ行キ兼ネル、斯様
ナ觀念ノ下ニ數十年來此ノ銀行ノ合同
ヲ獎勵シテ來テ銀行ヲ大キクシテ來タ
ノデアリマシテ、私ガ言フコトガ少シシ
語幣ガアルカトモ思ヒマスガ、少シ大
キク申セバ、今日小銀行ト云フモノハ
既ニ存在シテ居ラナイ、皆大銀行ニ相
成ツテシマツタ、又大銀行ニ相成ルヤ
ウニ大藏省ハ其ノ施策ヲ進メテ來タ、
斯様ニ申シテモ差支ガナイカト思フノ
デアリマス

ノデアリマス、勿論ソレヲ指導スル必
要ハアルト思ヒマスルケレドモ、今日
我々ガ考ヘテ居ルヤウナ、非常ニ不必
要ナ點マデモ制限ラスル傾向ガアリハ
シナイカ、斯ウ云フ感ジヨ受ケルノデ
アリマス、是ハ一ツハ軍需方面ノ生産
ノ會社ニ對シテ、一般ノ大衆ヲシテ相
當ナ配當ヲ維持シテ行ツテウント投資
ヲセシメル、サウシテ浮動ノ或ハ遊
弋——遊弋ト云フ言葉ハドウカト思ヒ
マスガ、遊弋シテ居ル金ヲ集メル、資金
吸收ノ一ツノ非常ナ好イ策ニモナルト
思フノデアリマス、勿論配當バカリガ
サウ云フ力ヲ示ス譯デハナイト思ヒマ
スルケレドモ、配當ト云フ問題ハ隨分
會社ニ對スル重要ナ問題デアルト思ヒ
マス、資金吸收ノ一ツノ策ニモナラウ
カト思ヒマス、又軍需生産ノ非常ナ力
ヲソコヘ一般カラ集中セシメル策ニ
モナラウト思フノデアリマス、又一般
ノ者ガ投資的ニ關係ヲ持ツテ居レバ非
常ニソコニ力強イモノガ出來テ、自然
ニ又大勢ノ目ガソコニ注ガレテ、監督
モ相當行届ク、斯ウ云フ結果モ見得ル
ト思フノデアリマス、併シ御當局ハ他
ノ物價トノ均衡、サウ云フ關係ニ御心
配ニナツテ配當ノ制限ラシテ居ラレル
ヤウニ私ハ拜察シテ居リマスルガ、斯
ウ云フ點モ今日或ル會社デハ配當ノ出
來得ル相當ナ範圍マデモ配當シナイ
デ、制限ヲ受ケテ居ルト云フヤウナコ
トヲ實際ニ打突カツテ見ルノデアリマ
ス、斯ウ云フ點ハサウ無暗ニ大キナ配
當ヲスル譯デモナイト私ハ確信シマスル
ガ、或ル程度マデ緩メテ、サウシテウ
ント軍需生産方面ニ金ヲ注込マス、斯
ウ云フ風ニ考ヘタラ宜カラウト思フノ
デアリマス、斯ウ云フ點ニ付テモドウ

○所考シ見管云

フ御考「デアリマスルカ、大藏省所ノ方面カラ配當問題ニ付テ相當御所モアラウカト思ヒマス、私ハモウ少斯ウ云フ點ハ緩メテモ然ルベキダトヘルノデアリマス、此ノ點ニ付テ御見ヲ伺ヒタ伊ト思ヒマス
石渡國務大臣 配當ノ問題ニ付キマテハ、支那事變以來相當ナ問題ノ種賄シテ來マンシタコトハ御承知ノ通りアルト思フノデアリマス、ドウモ多ナ配當ヲ致ス、即チ率ノ多イ配當ヲ支那事變以來ノ傾向デアルト思フ、實際一方ニ於テ戰爭ガ烈シニ相成ツスト云フコトハ、非常ニ世人一般ノ證言ヲ惡ク致スト云フコトガ、大體此ヘセラレル問題モアルト思フノデリマシテ、既ニ支那事變が始マリマテ際ニ於テモ、高率配當ニ對スル課ト云フモノガ第一着ニ執ラレタノデシテ居リマセウシ、又官廳側カラ配リマス、其ノ後色々々變化ヲ致シマテ、今日配當ヲ實際或ル程度制限モナクテモ宜カラウト云フモノモアリニ付テ彼此レ申述べルト云フコトヲモ聞イテ居ルノデアリマス、中ニハ局苛烈ナル場合ニ於キマシテ、私ハ分理由ノナイ、又サウ云フコトヲ致ナクテモ宜カラウト云フモノモアリニ於テ止メテ然ルベキ方向デハアルスケレドモ、先づ今日ノ場合、此ノイカト思フノデアリマス、尤モ此ノ社ノ配當ト申シマシテモ、積立金ノイ會社モアリマスシ、又積立金ノ少富ヲ多クスルト云フ傾向ハ、先づ大會社モアルノデアリマシテ、外部カ兒テ會社ノ配當ヲ一律ニ蓄積ノ多イ會社、拂込金ガ少クテ蓄積ノ多イ會社モアルノデアリマス、此ノ點ニ付テ御見ヲ伺ヒタ伊ト思ヒマス

ス〇マノ私ナ併ラニ會

ス
九鬼委員 次ニ簡単ナ問題デアリマガ、軍需會社ノ他ノ會社ニ對スル
家資金ノ使用ニ對シテ、一層嚴重ナ事例、是ハ今日マデノ會社アレバ、例
バ重役ガ私財マデ投ジテ會社ヲヤツ
居ル、其ノ他斯ウ云フ狀態ノ爲ニ自
非常ナ責任ヲ以テ慎重ニ且ツ有效ニ
ヲ使ツテ居ツタノアリマスガ、今
ノヤウニ國家資金ヲドンヽ出シテ
イテ使ヘト云フ狀態ニナリマスト、
ヨニ濫費ノ弊ガ生レテ參ルノデアリ
ス、實際現實ニ我々ノ鬱鬱スベキ
ウナ狀態モ見ルノデアリマシテ、是
ハ軍需生產モ旨ク行キサウナ譯ハ
イ、隨テ會社ノ基礎モ非常ニ危イモ
ニナル、斯ウ云フ感ジヲ受ケルノデ
リマス、此ノ點ハ十分御留意ニナツ
居ルト思ヒマスガ、斯ウ云フ點カラ
性「インフレーション」ノ一ツノ原因
生レテ來ルノデハナイカトサヘ私共
考ヘルノデアリマス、過去ノ問題デ
リマスガ、企業整備ヲシタ時ナド
、マルデ腐ツタヤウナ工場ヲ非常ナ
イ値セテ賣ツテ居ルノデアリマシテ、
ウ云フ點ハウント嚴格ニ指導スベキ
アツタト思フノデアリマス、勿論此
賣ソタ金ハ制限ヲサレテ居ル狀態ニ
アルコトハアリマスケレドモ、サウ云
ハ此ノ銃後ニ於ケルツノ株主會社
當務者ノ責任デアルト思フノデアリ

御意又之を行其是毛ニタル

私たちは自己を必要とする者としての自己と、他人に対する自己の二つ

フモノハ、逐次之ヲ是正シテ行クコト
ガ出来ルヤウニ存ジマス
○九鬼委員 私ノ御伺ヒスルハ以上
テ終了致シマシタガ、最後ニ希望ヲ附
加^ヘテ申上ゲタイト思ヒマス、大藏大
臣官ハ御手腕、御識見、御人格ニ付テ絶
大ナ敬意ヲ表シマスガ、ドウカ勇斷ヲ
以テ事ニ當ツテ戴キタイト思ヒマス、
大臣ガ自分ハ良イト思フガドウモ下ノ
者ガ言フコトヲ聽カヌ、斯ウ云フコト
モ最近事實ニ於テ承ツタコトモアルノ
アリマス、斯ウ云フ點ハドウカ一ツ
勇斷ヲ以ツテ下僚ヲ御指導戴イテ、良
イト思ハレルコトハ勇果敢ニ實現ス
ルヤウニ御願ヒ致シタイト思ヒマス、
又モウ一點ハ銀行ノ要員ノ問題デアリ
マス、此ノ點モ大藏省ノ方面カラモ段々
要員モ不自由ニナツテ來テ居リマス
カ、銀行モ重大ナ面ヲ受持ツテ御奉公
シテ居ルノデアリマスカラ、斯ウ云
ノ點モ大藏省トシテモ或ル程度マデ不
自由ヲシナイダケノ要員ニ付テハ何カ
供給ノ出來ルヤウニ御嘗折リヲ戴キタ
イト思ヒマス、此ノ點希望ヲ附加ヘテ
私ノ質問ヲ終リマス
○石渡國務大臣 第一ノ點ハ、私ハ是
カ宜シイト思ヒマシタコトハソレニ驚
き^ヲ致ス積リデアリマス、唯下ノ者ニ
アルト思フ場合ニハ、私ハ自分ノ考
ヘテ居リマシタコトデモ遠慮ナク引返
ヘコトニ致シテ居ルノデアリマスガ、色
巴ナ問題ニ付テ、是ガ宜シイト思ヒマ
ンタ時分ニハ私ハ躊躇^ヲ致スコトニシ
ノ居ルノデアリマス、御趣意ノ點ハ
重々拜承致シテ置キマス
ソレカラ第一ノ要員ノ問題デアリマ
ガ、是ハ斯クノ如キ時節ニ至リマシ

テ實ハ大藏省ト致シマシテモ非常ニ苦勞ヲ致シテ居ルノデアリマス、折角金融機關ノ方々ニ此ノ貯蓄ノ重大使命ヲ御預カリ戴キマシテ、サウシテ各金融機關ガ貯蓄ニ大ニ努力ヲ致シテ居リマス際ニ、要員ガ引拔カレルト云フコトハ實ハ非常ニ痛イコトデアリマシテ、ドウ致シマシテモ或ル程度ノ要員ノ確保ト云フコトハ私ハ絶対ニ必要デアルト存ジテ居ルノデアリマス、又一方金融機關方面ニ於テモ或ハ合併、店舗ノ整理其ノ他ニ依ツテ出來ルダケ人ヲ生ミ出ス必要モアルト思フノデアリマス、厚生省方面ニ於テモ色々タト諒解ヲシテ貰ツテ居ル次第アリマシテ、今後ニ於テモ大藏省トシテハ出來ルダケ骨ヲ折ル積リデアリマス、又同時ニ金融機關ニ於テモ出來ルダケ執務ヲ簡素ニシ、從來自由經濟時代ニ色々行ヒ來ツタ最モ正確ヲ期スル途ト云フコトデ、色々ナ手數ヲ履ソデ居ルノデアリマスガ、ソレ等ノ手數ヲ出來ルダケ簡素ニシ、又大藏省トシテモ金融機關ガ手續ヲ簡素ニスル尙向ニ色々心配モ致シテ行ク積リデ居リマス、左様ナ方面ニ於テ金融機關ニ於テモ、自分で出來ルダケ人手ヲ減ラス工夫ヲシテ、執務ニ餘地ノアル方面ハ出來ルダケ軍需工場等ニ出ス、同時ニ又一方軍需其ノ他ノ方面ニ於テモ金融機關ノ徵用ヲ緩和シテ、或リ程度ニ於キマシテ從業者ト云フモノハ絶対ニ之ヲ確保スルト云フコトノ必要ガアルト思フノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ大藏省トシテモ將來十分ニ心配致ス積リデゴザイ

損害填補ノ爲ノ特別積立金ヲ命ぜラレル場合デアリマス、ソコデ第一ハ是ハ一種ノ法定積立金ト云フヤウナモノニアレマスガ、其ノ歩合或ハソレヲ決定セラレマスアル、標準ト云フヤウナモノニアリマスカ、ソレヲ先ヅ御伺ヒ致シマス。○追水政府委員 法律デハ收入金ノ一部ヲ積立テルコトニナツテ居リマスルガ、其ノ收入金ノドノ位ノ割合ヲ積立テカラ宜イカト云フコトニ付キマシテハ、目下計算ヲ致シテ居リマス。ト申シマスノハ、大體各銀行ヲシテ今日ノ程度ノ配當ヲ維持セシムルコトヲ標準ト致シマシテ、大體收入金ガドノ位出テ來ルカ、又稅金等ノ關係モゴザイマスルノデ、サウ云フコトヲ能ク見合セマシテ、ドノ位ノ割合ニナルカト云フコトヲ今計算ヲ致シテ居リマス、一寸此ノ所數字ガ色々各銀行ニ依リマシテ違フ數字モ出テ居リマスルノデ、其ノ點マダ決メ兼ネテ居リマスルガ、成ベク早ク決メタイト思ヒマス。○池本委員 ソレデハ各銀行ノ内容ナシカニ依リマシテ、其ノ歩合ハ變ル場合ガアルノデアリマスカ、或ハ均等ニサレル譯デアリマスカ。

○池本委員 損失ノアツタ場合ニ、第一段トシテ積立金カラソレヲ 填補ス ノカ、又アルガ、國家ハ補償ヲシナイノダト云フノデアレバ、國家ガ補償ヲセラナイ理由ヲ承リタイト思ヒマス申シマスルノハ利益ト云フ意味デハアリマヌデ、經費ヲ差引カナイ前ノ收入ノ積リデ居リマス、其ノ點文字ノ解釋ニナリマスガ、一寸申上ゲテ置キマス、次ニ金融機關ニ付キマシテハ損失ガ起ラナイノカ、絶對ニ起ラナイト考ヘテ居ルカト云フ御臺ネゴザイマスルガ、建前ノ問題ト致シマシテハ、軍需金融機關ニハ損失ガ起ラナイト云フ建前ヲ執ツテ此ノ法律ガ出テ居リマス、隨ヒマシテ損失補償ト云フコトノ規定モゴザイマセヌ、併シ何ト申シマシテモ戰時ニ於ケル厖大ナル資金ノ融通デアリマスルノデ其ノ中ニ若干ノ損失ノ出テ此ノ填補ニ充テテ行クト云フコトニナルノデアリマス、更ニソレ以上ノ損失ガ出タ場合ニハドウスルカト云フ問題デアリマスルガ、ソレハ其ノ時ニナリマシテ考ヘルノガ適當デアルト存ズルノデアリマシテ、差當リ法律ノ建前トシテハ、軍需金融機關ハ其ノ前ノ方ノ條文ニモデゴザイマスルガ、資金ノ融通ノ申込ヲ受ケタ場合ニ之ニ應ジ難イド認メル場合ヲ措置シドモ規定致シタ點等モ照致シマシテ、一應損ハナイ、斯ウ云フ建前ニ依シテ法律ガ出來テ居リマス

ニハ、其ノ時ニ考ヘルト、斯ウ云フノデアリマスガ、金融機関カラ申シマスルナラバ、一應其ノ融通ヲ致ス場合ニ、萬一ノ場合ニ國家補償ガアルカナレナイト云フヤウナ建前デアルナラバ、其ノ代リニハ其ノ融通ニ付キマシテ、銀行ノ意思ヲモヤハリ或ル程度度主的ニソレヲ承認シテヤル必要ガ起ツテ來ル、サウシマスルト其ノ軍需金融機關ニ對シマシテ、政府ハ強力ナル指導監督權ヲ持ツテ居フレルガ、萬一ノ場合ニソレヲ補償シテヤラナイト云フノデアルナラバ、政府ノ金融機関ニ對スル所ノ指導監督ノ力ガ弱ラザルヲ得ナイノデハナイカ、サウスルトヨコニ一面ニ於キマシテハ融資スベキモノモ融資ヲセナイト云フヤウナ場合ガ起り得ルカト思フノデアリマスガ、ソレ等ノ點ニ付キマシテ、當局ノ御考ヲ承リタイ

ノ仰セニナルヤウナ臆病ナ感ジニ相成テ來ルト思フノデアリマス、ソレデ
一體最モ危険ノ多イ、自分ガ考ヘテモ左様ナモノハ迭モ負擔シ切レマセヌヨ
ト云フコトハ、昨日モ御示シノアツタ第五條ニ、金融機關ガ應ジ難シト認
メ、迭モ自分等ハ左様ナ資金ノ供給ヲ受ケルコトガ出來ナイ、併シナガラノ
仕事ガ國家ノ今日ノ場合ニ於テ是非必要デアルト、斯様ナ場合ニ於キマシ
テハ政府ハ必要ナル措置ヲ講ズベシト云フコトハ一體ドウ云フコトデアルカラ
ト云フナラ、最早其ノ金ハソレデハ戰時金融庫ニ於テ、興業銀行ニ於テ政
府ハ補償スルカラ興業銀行デ金ヲ借リトスウ云フヤウノコトニ相成ルト
モノデアリマス、初メカラ是ハ迭モ自己仕方ガアルト思フノデス、デ此ノ法律
込ガナイケレドモ今日ノ場合はガ非ナヤツテ行カナキヤイカヌト云フヤウ
ナ、左様ナ仕事ハ自ラ又別途ノ處置ニ依ル所ノ收入金ノ一部ヲ積立テサセル、
全體ヲ通ジマシテ、最初カラ損ノアルト云フコトヲ豫定致シマシテノ條項ハ
置カナカツタ、唯此ノ資金ノ融通ニ依ル所ノ收入金ノ一部ヲ積立テサセ
ル其ノ積立テサセタ金ヲ以テ損ノアツタ場合ニ拂フ、其ノ拂ツタモノノデ足ラヌ
場合ニハドウスルカ、實ハ此ノ法律ハ足ラヌコトヲ豫期シテ居リマセヌ、餘
タ場合ニハ取上ゲマスゾト云フ條文ヲ置イテ居ルノデアリマス、隨テ普通
ノ場合ニ於テ危険ノ大キイモノハ大體危險ノ状況ノナインモノノデアルカラ
普通ノ銀行ニ於テソレヲ引受ケシメテ、積立金テ若シ損ノアツタ場合ニハ
モノハ之ヲ引受ケル、サウデナイモノハ大體危險ノ状況ノナインモノハ大體
成ツテ居ルノデアリマス、若シ、國家ノ

ノ方針ノ變更其ノ他經濟界ニ於キマス
ニ行クベキ所ノ產業（軍需產業等）ガ順調
調ニ行カヌ、例へバ非常ナ引返ヘシ致
ス、又廢メナケレバイカヌ、斯ウ云フ
ヤウナ場合ニ於キマシテハ或ハ其ノ軍
需會社ニ對シテ政府ハ適當ナル處置ヲ
講ズル、サウシテ其ノ軍需會社カラ其
ノ金融會社ニ金ヲ拂フカ、ソレトモ其
ノ金融會社ニ對シテ何カ別途ノ措置ヲ
講ズルカト云フコトハ、是ハ後日ノ問
題デ宜シカラウト存ジマシテ、實ハ茲
ニ省イテ居ル次第デアリマス、昭和二
年、三年當時ノヤウナ狀態ガ起ルトハ
考ヘマセヌガ、ア、云フヤウナ場合ニ
於キマシテ政府ハ其ノ損失ヲ補償ス
ル、損失ヲ引被ルト云フコトニ致シテ
居ルノデアリマス、情勢ノ極メテ重大
ナル變化ノ場合ニ於キマシテハ其ノ時
ニ於テ其ノ措置ヲ考ヘヨウ、斯様ナ考
へ方ヲ致シマシテ本案ヲ提出シタ次第
デアリマス、左様御諒諒願ヒマス
○池本委員 此ノ點ニ付キマシテハソ
レ以上御尋ネ致シマセヌ、唯御答辯ノ
中ノ御考ヘノ一ツトシテ一應銀行ニ嚴
シクシテ置イテ、サウシテ放漫ニナラ
ヌヤウニト云フヤウナ御考ヘガアルカ
ト思フノデアリマスガ、サウデアリマ
スルナラバ、ソレハ洵ニ結構デアリマ
ス、只今九鬼君カラノ御希望モアリマ
シタ如ク、率直ニ申シマシテ從來所謂
時局產業ノ經理ノ放漫デアルト云フコ
トハ社會一般ノ聲デアリマス、手近ナ
我々ノ日常生活ニ付テ見マシテモ、一
體アノ賽ト云フヤウナモノハ、アレハ
日露戰爭ノ時ニモヤハリ軍需製造會社
ハアツタ譯デセウガ、アンナモノハナ
カツタ、所ガ高級享受樂機關ヲ潰シタ
ガ、ソレガ裏返ツテ何ダカ譯ノ分ラナ

イア、云フヤウナ寮出来タ、サウシテソニコニ不善ガ行ハレテ居ルンデヤナ
イカト云フヤウナ感ジガアリマシテ、國民思想ニ非常ナ惡影響ガアル、是ハ
方デアリマスルカラ、其ノ意味ニ於キ
マシテハ當局ガソレノ本デアリマス金
融機關ヲ緊メテ掛カラレルト云フ點ニ
付キマシテハ非常ニ結構ト思ヒマス、
從來大藏省モ此ノ軍需會社ノ金融經營
ニ付キマシテハ、相當ノ權限ヲ持ツテ
居ラレナガラドウモ勇斷ヲ缺イテ居ラ
レタト思ヒマスノデ、今度ヨソハ折角
十分嚴正ナル態度ヲ以テ指導監督セラ
レントコトヲ希望致シマス、ソコデ第二
番デアリスガ、大藏當局ト軍需省ノ方
ハ御見エニナツテ居リマスカ
○久山委員長 池本君、一寸申上ゲマ
スガ、大臣ハ二時半カラ御退席ニナル
豫定デアリマス

○池本委員 ソレデハ局長デモ結構デ
スカラ大臣ノ積リデ御答辯下サイ、法
案ガ軍需工場ニ關係ガアリマスノデ、
ソレノ關聯事項ニナルノデアリマス
ガ、一般家屋ノ強制疎開デアリマス、是
ハ情勢ノ變化ニ依リマシテハ今後尙ホ
急遽促進スル要ガアル、又當局ニ於キ
マシテその他ノ委員會ニ於キマシテ此ノ
意思ヲ表示シテ居ラレルヤウデアリマ
ス、ソレハ當然ダト思フノデスガ、其
ノ強制疎開ノモノノ一斑ナシデス、
ソレハ先づ前段ニ於テ軍需省ノ方ニ事
實ヲ知ツテオイデニナルカドウカ伺ヒ
マス、軍需省ハ軍需工場ダケダト言ハ
レル、併シソレノ周圍ニ色々ナ社宅ナ
リ、一般ノ疎開モアルカラアナタノ方
ニ御關係ガアル、是ハ内務當局ニモ伺
ハナケレバナラナイノデスカ、大體前

段デ申シマスト、強制疎開ヲサセテ置
キナガラ甚ダ政府ノ親心ガ足リナイ、
寧ロ怠慢ダト思フ事實ガアルノデアリ
マス、ソレハ京都ノ實例ナシニスガ、
テヨ、ニ申上ゲル、京都ノ例ハ昨年
ノ七月十九日ニ突然トシテ間引疎開
他ノ都市ニモサウ云フ例ガ多クア
ルト云フコトデスカラ一般問題トシ
テヨ、ニ申上ゲル、京都ノ例ハ昨年
ノナタノ所ハ御氣ノ毒デスガト言フ、
御氣ノ毒ト云フノハ何デスカ、此ノ月
中ニアナタノ所ヲ疎開シテ貰ハナケレ
警官ガヒヨコットスツテ來テ、ア
ナタノ所ハ御氣ノ毒デスガト言フ、
ノダガ、知ラナインハ宜シイトシテ、
ナタノ所ハ御氣ノ毒ト云フノハ何デスカ、
十九日カラ七月三十一日マデ十日餘り
ノ間ニ疎開ヲ命ジタ、何シロ短時日間
ノ疎開デアリマスガラ、被疎開者トシ
テハ實ニ言フベカラザル所ノ混雜ト不
利ヲ蒙ツタノデス、ソレハ御承知ノ通
リ小運送ニシマシテモ、一ツ自動車ヲ
呼ソデ來ルニシテモ中々オイソレトハ
出テ來ヤシナイ、色々ナモノガ要リマ
ス、代リノ家モ探サナケレバナラナ
イ、差シ向キ三人ヤ四人ナラ宜イガ、
九人十人、而モ先祖カラノ家財道具ヲ
持ツテ居ル者ガ十日間ニ代ル家ガアル
カ、併シナガラ、ソレニ此處ニ言フノ
デハアリマセヌガ、何等被疎開者ハ不
平モ不満モ言ハズシテ能ク時局ヲ認識
シテ兎ニ角疎開ヲ終ツタ、ソコデ内務
省ヘノ報告ハ恐ラク立派ナ成績デヤツ
タト言ツテ報告ガアツタラウト思ヒマ
ス、形ノ上ニ於テハサウナツテ居ル、所
ガソレヲドウ斯ウト言フノデハアリマ
セヌ、短カツタトカ或ハ被疎開者ノ不
利不便ガアツタト言フノデハアリマセ

単價其ノモノモ今日ノ常識カラハ考ヘ
レナイン程安イ、併シソレモ言ヒマセ
ヌガ、未ダニ代金ヲ支拂シテ居ラナ
イ、一體十日デ出シテ置イテ、爾來六
箇月ニナツテモ未ダ金ヲ拂ハナイト云
ノハドシタコトノカ、何處ニ親心
ガアルノカ、ソコデ私ハ其ノ間京都ノ
當局ニ對シマシテ忠言ヲ内々試ミタコ
トガアリマスガ、依然トシテ今日拂ハ
レテ居ラナイ、家屋ト地所トハ私ノ方
デハ府ト市トニ分ケテヤツテ、家屋ノ
方ハ府、地所ノ方ハ市デヤルト云フコ
トニシテアルノデスガ、府ノ方ハ大凡
ノ目安ノ金額ハ被疎開者ニ兎ニ角示シ
タ、併シナガラマダ現金ヲ拂ツテ居リ
マセヌ、市關係ノ地所ニ至リマシテハ
未ダソレヲドウスルノカ、ウントモス
ウトモ言ハナイ、一指モ染メテ居ラナ
イ、所ガ被疎開者ハ代リノ住居ヲ探
シ、買ハナケレバナラナイ或ハ借リナ
ケレバナラナイ、場合ニ依ツテハ十五
坪ノ家デモ建テナケレバナラナイ、ソ
レガ一體トレダケデ買上ゲテ戴ケルノ
カ、況シヤ其ノ金モナイ者モアリマス
ガ、ソレノ目安ガ立タズ、心積りモ出
来ズ、非常ニ困ツテ居ルト云フノガ事
實デス、併シナガラ是ハ一應大藏當局
ニハ關係ガアル、一應内務當局ノ方へモ能
ク此ノ實情ハ御詫置キヨ願ヒトイ、或
ニアナタノ方ハソンナコトハ知ラナン
ダト言ハレルノカ、又ハ知ツテ居ツテ
ドウ云フ風ニ御考ヘニナツテ居ルノ
カ、今後は急遽ヤラナケレバナラヌ
問題デアリマスカラ、一ツ其ノ點ノ御

ソユデ大藏當局ニ對シマシテハ、租稅措置ノ問題デス、是ハ田中サンニハ一應申上ゲタコトモアルノデアリマスケレドモ、疎開ニ付テノ租稅措置、之ニハ色々ナト御心組ガアルヤウデアリマス、殊ニ今度ノ増稅案ノ中ニ、臨時利得稅ヲ從來ノ二割減カラ全免ニサレルト云フ法案ガ出テ居リマスルコトハ、私ハ洵ニ結構ナコトダト思ヒマスガ、斯ウ云フ風ナ收益稅のナモノ以外ニ、家屋稅、地租ナドニ付キマシテモ同ジヤウナ御考ヘラ下サラナイカ、尤モ此ノ中ノ地租ニ付テハ、先頃何ダ大藏省方面ニ於テハソレノ減免ヲ決定セラレマシテ、財務局カラ地方廳ノ方へ内通知ヲセラレタカノヤウナコトモ聞イテ居ルノデアリマス、サウスルト、大藏當局トシテハ、洵ニ親心デ結構ダト思ツテ居ルノデアリマスガ、ソレハ事實デアリマスカドウカ、ト云フノハ、サウ云フコトヲ私ハ一方地方廳カラ聽イタノデアリマスガ、併シナガラ現實ニハ被疎開者ハ其ノ地租ヲ納メザルヲ得ナカツタ、アレハ十月ノ三十日限りノ納期ニナツテ居リマスガ、納メザルヲ得ナカツタ、所ガ後日ソレヲ返還スルト言ツテ居ル、返還ヲサレルニシマシテモ、御承知ノ通りニ返シテ貰フ位ノ金ヤ、手間暇ヲ使ハナケレバ、一旦納メレバ中々返ツテ來ルモノデヤナイ、ソユデ返シテ貰ヘルトシテモ、若シ其ノ減免ノコトガ決マルトスレバ、地方廳ニ於テ其ノ間ニ何トカ取計ラヒガ出來ナカツタモノカト思フノデアリマスガ、是ハ地租ニ付テサウ云フ減免ノコトヲ決定セラレタノデアリマスカ、ドウデアリマスカ、一ツ御伺ヒヲ致シタイト思ヒマス

カラ、サウ云フ觀點カラ申シマスナラバ、尙更補助ヤ何カラ増サレテモ宜イト思フノデアリマス、是等ノ點ニ付テ兩當局ノ御答辯ヲ伺ヒタイト思ヒマス。○椎名政府委員　軍需省ノ關係面ニ付キマシテ御答ヘ申上ゲマス、一般ノ民工場、或ハ孫工場程度ノモノニアラヌリマスガ——サウ云フ場合ハ主ニ協力家ノ疎開ト關聯シテ、工場設備ガ卷添ヘヨ食フ——卷添ヘト云フト語弊ガアリマスガ、ソレハ大體指定制度ニナツテ居リマシテ、體力三千前後指定サレテ居ルト思ヒマス、是ハ何レモ現下ノ情勢ニ於テ軍需生産上極メテ緊要ナリ工場ナノデアリマス、之ニ付キマシテハ大體今日ノ資材其ノ他ノ關係カラニ考慮致シマシテ、優先先後ノ順位ヲ定メマシテ、サウシテ疏開先ヲ決定シテ逐次之ヲ實施スルト云フ段取ヲ進メテ居ル譯アリマスガ、一般ノ内務省所管ノ防空法施行ノ關係デ律セラレルモノニ付キマシテハ、此ノ取扱外ニ賣ケレバ、其ノ工場一時的モ生産スルカラシナイカト云フコトガ相當軍需生産ニ關係ノアル場合モアラウカト存ジマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ、少クトモ生産減退ニナラヌト云フコトヲ中心ニ致シマシテ、内務省ノ取扱ニ關シテ重ニ十分ナ考慮ヲ加ヘテ貰フト云フコトニシタイト思ツテ居リマス、補償ノ間題ハ池本サソモ今言ハレマシタガ、半分ダアルトカ

或ハ三分ノ一トカ云フヤウナ譯ヲ聞イ
テ居リマスガ、マダハツキリシタ決定
ガアツタモ實ハ私寡聞ニシテ知リマ
セヌ、併シ少クトモ軍需省ノ統轄シテ
居リマスル緊要工場約三千内外ノモノ
ニ付キマシテハ、只今關係方面ト折衝シ
テ審議ヲ進メツツアリマス、是ハ今日
ノ軍需生産ニ一刻モ弛ミヨ來スベキモ
ノデナインデアリマンチ、極メテ迅速
ニ、要スレバ國家ノ權力ヲ以テ協力シ
テモ迅速ニ疎開ノ手續ヲ終了セシム
ル、隨テ其ノ費用等ニ付キマシテハ、
一般ノ防空法ノ疎開ノ場合ト趣キヲ異
ニ致シマシテ、相當手厚ク、要スレバ
全額ト思ツテ居リマスガ、是モマダ相
談ガ決マツタ譯デハアリマセヌガ、左
様ニ取扱フシテ行クノガ然ルベキモノ
デアラウト云フ風ニ考ヘテ、關係省ト
折衝ヲシテ居ルヤウナ譯デアリマス
○田中豐政府委員 疏開ト租稅ノ關
係デゴザイマスガ、池本サンノ只今仰
タ場合ニハ、今回稅法ヲ改正致シマシ
テ、其ノ不動產ノ讓渡ニ對シテ課稅セ
ラル、讓渡利得稅、之ヲ強制疎開ノ場
合ハ、全面的ニ免除スルコトニ致シテ
居リマス、其ノ他ノ強制疎開ニアラザ
ル任意疎開ト申シマスカ、命令ニ基力
ナイガ防空上ノ意味ニ疎開スル、其ノ
爲ニ不動產ヲ讓渡シタト云フヤウナ場
合ニ於キマシテモ、昨年御協賛ヲ經マ
シテ利得稅ヲ二割輕減出來ルコトニナ
ツテ居ルノデアリマスガ、本年ハ三割
ニ輕減ノ割合ヲ擴張スルコトニ致シテ
居ルノデアリマス、其ノ他營業稅等ニ
付キマシテモ、疎開ノ爲ニ營業ノ收益
ガ減ソタ、所得ガ減ソタト云フヤウナ
モノニ付キマシテハ、ソレドク租稅ノ

ズツトアルノアリマスガ、ソレヲ今
回整備強化致シテ居リマス、地租索屋
税等ニ付キマシテハ、サウ云フ新シイ
規定ヲ設ケテ居ナイノデアリマスガ、
地租ニ付キマシテハ其ノ土地ガ強制疎
開等ノ場合ハ、概ネ公共團體ガ買取ル
カラ、地租等ノ免除ハ致シテ居ルト言
ヒマスカ、有料デ借地シテ居リマス場
合ハ、ソコデ收入ガ入ル譯デアリマス
カ、又ハ又料デ借地致シテ居リマセ
ヌ、公共團體ガ買取りマシタ場合ハ、
公共團體ノ公用ニ供スルヤウナ目的
デアリマスカラ地租ハ課税致サナイ、
斯ウ云フ風ニナツテ居リマス、尙又空
襲等ノ災害ノ爲ニ家ガ焼ケタ、サウシ
テ其ノ後防空等ノ關係カラ建築ヲ許サ
ナイ、即チ宅地ガ宅地トシテ利用出来
ナイト云フ状況ニ相成ツテ居ルモノモ
アルヤウデアリマスガ、サウ云フモノ
ニ對シテ地租ノ免除ト云フコトハ、今
後考慮致シタイト考ヘテ居ル次第ニア
リマス

モ地租ハ一本ノ國稅ダト言ハレマヌケテ
ガ、併シ納メル方ノ側カラ言へバ府市
ノ附加稅、都市計畫稅ヲ合セマシテ三
倍加ヘテ、丁度國稅ノ四倍ノモノヲ
メナケレバナラヌ、ダカラ決シテ金額
ハ小サクナイ、家屋稅ニ付キマシテモ
申セバ言ヒ得ルノデアリマスガ、多ク
ハ申シマセヌケレドモ、一體家屋テアリ
ルナラバソレハ建テ方モアリマセウ、
資材ノ善シ惡シモアルダラウカラ、買
上ゲルニシテモ多少評價ノ手間ハ或
程度要ルカモ知レナイガ——又土地ニ
付テモ同ジコト、アチラコチラ一等地
地、二等地、三等地ト平素ニ於キマシ
テ土地貸價格モ出來テ居ルコトナシ
デスシ、大抵場所柄モ分ツテ居ルカラ
ス、評價モ早ク出來ナケレバナラヌト
ニ漫然トシテ居ル、ツレハ大藏當局ノ
知ツタコトデハナイカモ知レナイガ、
サウ云フヤウニ拂ハナケレバナラヌト
云フ實情ニアルノデス、折角國家ノ
請ニ應ジテ、言フベキコトモ言ハズ
ニ、欣然トシテ國家ノ非常命令ニ服シ
テ居ルノデスカラ、ソレニ報エルニ
ニ黙ツテ居レバ宜イト云ツテモ、併シ
温カイ親心ヲ以テヤラレルコトガ、贊
レテ居リマスコトハ私ハ感謝致シマ
ガ、尙ホ一層此ノ上ナガラ御考慮ヲ
昂揚致シマセヌ、之ニ付キマシテハナ
ヒタイ、軍需當局モ考慮ダケデハナ
ク、ソレト必然不可分ノ關係ニ於テ

斯フ云フ民家ノ疎開モ行ハレルコトデ
アリマスカラ、一ツ内務當局ニモ能ク
御注意下サイマシテ、警告セラレマシ
テ、今後トモ十分ナル國家ノ親心ヲ示
サレルヤウニ希望致シテ置キマス、宮
崎君ガ居ラレマスカラ私ハ一寸コ、デ
中斷サシテ戴キマス

○久山委員長 ソレデハ宮崎君
○宮崎委員 軍需金融等特別設置法案
ニ付ギマシテ、一言自分ノ考ヘヲ申上
ゲテ、軍需省、殊ニ軍需省ノ兵器總局
ノ方ガ御見エデゴザイマスカラ、斯ウ
云フ問題ニ付テ御伺ヒシタイト思ヒマ
ス、唯其ノ中ノ具體的ナコトハ可ナリ
國家機密ニナルカト思ヒマスノデ、ソ
レ等ノ點ハ自分カラ申スコトモ抽象的
ニ致シマス、又是ハ必ず適當ナル機會
ニ、當局カラ祕密會其ノ他ニ於テモ、
十分ノ御話ガアルコトヲ期待シテ、抽象
的ノコトダケヲ申上げタイト思ヒマ
ス

此ノ度ノ戰ヒハ結局今日ノヤウナ狀
況ニナツテ、從來ノ戰爭ト異ル航空
戰、立體戰、極端ナ航空機ニ依ル戰ヒニ
ナツテ來テ居ル、ソコデ國民ノ關心ト
云フモノハ、日本ノ航空機ノ増產狀況ト
云フモノニ付テ、非常ニ心配ヲ持ツテ
居リマス、或ハ當局ノ方デハサウ云フ
コトハ言フナ、サウ云フ心配ヲスル
ナ、戰サノコトハ軍ニ信賴シテオ前達
ハ商賣ノコトヲヤツテ居レ、斯ウ云フ
御言葉ガアルカニ伺ツテ居リマスガ、
日本國民ガ床屋サソデモ、或ハ勞働者
デモ此ノコトヲ非常ニ心配シテ居ルト
云フコトハ、私ハ日本國民ガ本當ノ忠
誠ノ念ニ燃エテ居ルモノダト思フノデ
アリマス、昨日デアリマシタカ一昨日
デアリマシタカ、豫算委員會ニ於ケル
八木技術院總裁ノ新兵器ニ關スル質問

ニ對スル御答へガ、其ノ通り正シク傳
ヘラレタカドウカ存ジマセヌガ、新聞
紙上ニ於テ有力ナル新兵器ガ將來使用
サレルデアラウト云フコトガドノ位國
民ヲ喜バシタカ、國民ハ非常ニ現實ニ
大キナ感激ヲ持ツテ居ルコトハ事實デ
アリマス、私ハ國家ガ非常ナ御心配ヲ
コトハ洵ニ御尤モナコトハ存ジマス、
ソレデサウ云フコトヲ輕々ニ言フベキ
デナイト云フコトハ十分考ヘテ居リマ
スケレドモ、唯政府ガ航空機ノ生產狀況
ガ旺盛ダ或ハ又非常ニ成績ガ舉ツテ居
ルノダト云フ漠然タル御話ヲ承リマス
時ニ、今ノ戰局ノコトヲ考ヘマスト、
是ハドウシテモ打勝タネバナラヌ戰サ
デアリマスノデ國民一般ガ非常ナ憂ヒ
ヲ持ツテ居ルト云フコトハ悲觀スルト
云フコトデハゴザイマセヌデ、各自ガ安
心ノ出來ル狀態ニナルヤウニ希望シテ
居ルノデアリマシテ、此ノ點政府トシ
テモ考ヘナケレバナラスト思フノデア
リマス、此ノ戰爭ガ始マル前ニヤハリ
大艦隊デ戦ハナケレバナラスト云フヤ
ウナ御考ヘモアツタヤウデアリマシ
テ、ソレガ結局ナツテ參リマスルト云フ
ト、日本ノ資材其ノ他ノ狀況ヲ考ヘ
テ見マスト、アノ開戰當初ニ較ベラバ
航空機ニ全力ヲ注イデ行クト云フコト
ハ四圍ノ狀況カラ考ヘテ當然ノコトデ
アツタヤウニ存ゼラレマス、サウシテ
マア當局モサウ云フ積リデ居ラレタモ
ノト存ジマスルガ、私ハ實際ニ現ハレ
タコトダケデ伺ツテ置キタイト思フノ
ハ、昭和十八年ニ何カ戰爭ガ早ク終了
スルト云フヤウナ御考ヘデ航空機ノ製
作ニ關スル工場ノ新設竝ニ擴張ト云フ
コトヲ打切ルト云フヤウナコトヲ當時

○遠藤(三)政府委員 昨年航空機關係ノ工場ノ増設ニ關シマシテ制限致シマシタコトハ事實デゴザイマス、ソレハ御承知ノ通り、航空兵器總局ガ出來上ル前ニ陸海軍デ各々責任ヲ以テ航空機ノ生產方面ヲ擔當シテ居リマシタ際、是ハ自然非常ナ競争モ起リ、マシタノデ、限定サレタ資材ガ動トモスルト建設方面ニヨミ流レマシテ、大事ナ兵器ニ使フベキ資材ガ不足勝チニナリサウナ氣配ガゴザイマシタノデ、サウ云フ状況ヲ是正スル爲ニ建設ヲ制限シタノデゴザイマス、出來ル限り資材ヲ直接兵器ニ持ツテ行キタイト云フ考ヘド以テヤツタノデゴザイマシテ、決シテ將來ノ航空機生産ヲ制限スル意味デ建設ヲ止メタ譯デハゴザイマセヌデシタ、左様御承知置キヨ顧ヒタイト思ヒマスノ、航空機生産ヲ制限スル意味デ建設ヲ止メタ譯デハゴザイマセヌデシタ、〇宮崎委員 只今ノ御答辯ニ付テハ能ク諒解致シマス、勿論將來ノ航空機生産ヲ制限スル積リデ左様ナコトヲナサレタモノデナニ、洵ニ其ノ當時ノ事情已ムヲ得ナカツタコトト存ジマスルガ、結果トシテハ左様ナコトガ今此ノ間際ニナツテ可ナリ生産ニ影響ガアルカラム言フノデ、過去ノコトヲ責メルノデハアリマセヌ、將來現實ニ重大ナ問題デアルト思フノデ申シマスガ、警察使ノ制度ガゴザイマス、藤原サンガ航空機工場ヲ査察ニ參リマシタ、是ハ非常ニ良

イ影響ヲ與へタニ違ヒアリマセヌケレドモ、其ノ查察使ノ方々ガ——科學上ノ知識ノアル方ノ説明デゴザイマスガ、其ノ際斯ウ云フコトガアツタカノヤウニ私共ニハ存ゼラレマス、結局熟處理ノ問題トカ或ハ鍛造スルト云フヤウナコトニ付テ、非常ニ數ヲ多く出シタトイ云フ爲ニ飛行機ノ數ヲ多く出シタトイ云フ爲ニ非常ニ無理ナ——航空機ノ本當ノ専門ノ技術者カラ云ヘバ、地上ノ自動車ト違ヒマシテ、何革トカ或ハ自轉車ト違ヒマシテ、何革「メータ」ト云フ高イ所ヘ行ク、一萬メートル上ノ方デ航行シナケレバナラズ所ノ航空機ニ付テ、色々ノ鍛造ニ關スル問題ニ付テモ、隨分或時間ノ點カラライツテモドウシテモ出來ナイデアラウト云フコトヲ、ナニソナコトデハイケナイ、此ノ非常ノ時ニハ非常ノコトヲセヨト云フノデ、非常ナ無理ヲ強ヒテ註文サレテ、航空機ノ技術者ガ出来ナイヤウナ監督御指圖ヲナサツテ居ル、其ノ結果カラ昨年ノ三、四月頃、私ガ思フノニ我が大日本帝國ノ航空機ノ生産量ハ一番上ツタ原因思ヒマスガ、其ノ際ニ非常ナ不良品ガ多出来タノデハナイカト思フ、サウシテソレガ世ノ中デ謂フ飛バナイ飛行機トカ云フ名前が付カ、或ハ殺人飛行機トカ云フ名前が付イテ居ル、サウ云フコトニナツタ原因ト云フモノハ、查察ニ行カレタ方ガ或ハ航空機ニ付テハ實際ノ經驗ヲオ持チカ、ニナラナイ、地上ノ自動車其ノ他ノ御經驗等ニ依ツテ指揮サレタ、或ハ又機械ガ非常ニ少イニ急ガセル、ダカラシテ一定ノ時間掛ケナケレバナラズ所出來タト云フコトガアルノデハナイカト、ノ時間ヲ置クコトヲサセナイデヤルト思ヒマスガ、當時實際ニ航空機ニ關

係シテ居ル技術者ト云フモノハ、其ノ飛バナイ飛行機トカ、殺人飛行機が出来タト云フコトノ爲ニ、非常ニ一時良心的ニ惱シニ度匙ヲ投ゲヨウトシタ時代ガアルヤウニ思フノデアリマス、ソレガ爲ニ後ニナツツ、是デハイケナイノダト云フノデ非常ニ嚴密ナ検査ガ始マツテ居ルヤウデゴザイマスガ、航空機生産ニ斯ウ云フコトガ私ハ非常ナ重大ナ影響ヲ與ヘテ居ルノデハナイカト思フノデアリマス、マルツキリ素人ガ中途カラ見テ、何十年來ノ經驗ノアル人ヲ非常ニ牽制スルト云フヤウナコトガアリハシナイカ、斯ウ云フコトニ私は非常ニ心配ガアツタモノデスカラ、指導ト云フコトニ特ニ御考ヘヨ願ヒマセヌト——ソレガ爲ニ昨年ハ非常ニ數ガ多ク出來タ、一體飛行機ノ生産ハ、東條サンノ時代ガサウデアリマスガ、數デ以テ「アメリカ」ハ何機、日本ハ何機、サウ云フ考ヘ方バカリシテ居ル所ニ危険ヲ感ズルノデアリマス、「アメリカ」ノ生産ガ天井ヲ突イタ、日本ガドウダ尔斯ワ云フ風ニ仰シャラレルコトハ、國民全體ヲ非常ニ誤ルト同時ニ、一方ニ於テハ左様ナ監督ノ方法ト云フモノガ非常ニ危険デアルト存ジマスルガ、其ノ點ニ對スル御感想ハドウデゴザイマスカ

イト云フコトダケ此處デ申上ゲテ置キマス、又其ノ指導等ニ關シテハ御説ノ通リ一部工合ノ悪イ點ガアツタヤウナコトモ聞イテ居リマスガ、私ノ心持トシテハ、指導トカ監督トカ云フコトデハナイ、本當ニ軍官民一體トナツテ航空機ノ生産ヲ増シテ行カナケレバナラヌト云フ氣持デヤツチ居リマス、此ノ考へハ逐次滲透致シマシテ、受入側ノ方モ氣持好クコチラノ云フコトヲ聽イテ吳レマスシ、又民間ノ權威者等ニモ出テ戴イテ、技術ヲ交流シタリ指導サレタリシテ、目下ハ圓滑ニ氣持好ク技術向上ニ向ツテ進ミツ、アルモノト確信シテ居リマス、尙ホ先程申シ足リマセヌデシタノデ附加ハサセテ戴キスマガ、施設ノ増強ヲ制限シタケレドモ、決シテ現在其ノ結果航空機生産ニ支障ヲ來シテ居リマセヌ、現在ノ隘路ハ決シテ施設ノ不十分ニハナイノデアリマスカラ其ノ點御承知ヲ願ヒマス

アリマスガ、或ル場所デハ嚴格ノ度ガ過ギルト云フノデアリマスカ、ソレカラ技術ノコトガ御分リニナルノデ、ソレガ爲ニ或ル場合ニハ御熱心ガ行過ギテ、例ヘバ工員ノ缺席率ガ多イノデ之ヲ嚴格ニヤツテ、來ナイト歐リ付ケルト云フヤウナコトデ、オ蔭様デ出席率ガ良クナツタ、是ハ熱心デ宜ウゴザイマスガ、其ノ結果工員ハ門ノ所マデ來テモ、時間ニ遅レテ居ルト、酷イ目ニ合フト云フノデ缺席率ヲ出シテ休ンデシマフ、又人間ノ出席率ガ良ク、資材ガ廻ツテモ能率ガ擧ラスト云フコトモアルノデ、是ハドウシテキ考ヘナケレバナルヌト思フ、私ハ遠藤長官ノ御話デアリマシタカ、ドナタノ御話デアリマシタカ、山崎精神ト云フモノヲ御説キニナラレテ、全員玉碎ノ積リデヤレト、「ラジオ」ナドデ承ツテ洵ニ感激致シタノデアリマスガ、一面ニ於テハ斯ウ云フコトモ考ヘナケレバナラヌ、純眞ナ攀徒或ハ挺身隊ノヤウナ、職場デ死ヌ氣持デ働くナケレバナラヌト云フ人々ト同時ニ、其處ニ來テ居ル工員ノ中ニハ女房子、父母ガアル者モアリマシテ、テモハ挺身隊ノヤウナ、職場デ死ヌ氣持デ働くナケレバナラヌト云フ人々ト同時ニ、其處ニ來テ居ル工員ノ中ニハ女房子、父母ガアル者モアリマシテ、テモ考ヘナケレバナラヌ、今日ノ食糧上サウ云フ方面ヲ考ヘマセヌト、唯軍隊ニ於ケル指揮命令ノ通り、簡單ニハ實際ノ事情ガ行カヌノデハナカラウカ、斯ウ云フ點カラ、此ノ兩面ヲ考ヘナケレバナラヌ、人間生活ノ現實父デアリ、子デアリ、夫デアルト云フ立場、又其ノ人ガ働くテ其ノ家ヲ支ヘテ居ルト云フ場合ガ現實ニハアルノデアリマス、サウ云フ現實ヲ考ヘテ、特攻隊ノ精神デヤラセルト云フコトト同時ニ、一面ニ於テハ長イ間働くテ貰フト云フコトヲ考ヘルト、非常ナ短カイ時

間ノ空撃ノヤウナ工合ニ參ル譯ニ行カ
ナイ部面モアリマスガ、サウ云フ點ヲ
考ヘマスト、監督官トシテ來ラレタ方
ノ中ニハ優レタ方モアルト同時ニ、一
面ニ於テハ、工場責任者ノ中カラ禦令
ガ出テ居ルノカ分ラヌト云フヤウナコ
トガ萬一アルト、形ノ上ノ整然タル工
場ノ態勢ハアツテモ、能率ノ上ニ大キ
ナ影響ガアルノデハ、ナイカト思ヒマ
ス、是ハ前議會ニ於テモ可ナリ強ク叫
バレタノデスガ、此ノ點ニ關スル當局
ノ御考ヘヨ伺ツテ置キタインデアリマ
ス

シマシテハ、監督官ト云フコトデ入ツ
テ、陸軍ノ系統デアリマシタガ昨年之ヲ
軍需省系統ノ監理官ト云フ風ニ、兼務
デアリマスガ、身分ヲ變ヘテ行キマシ
テ、軍需省系統ノ軍需監理部長ノ指導
ヲ受ケルヤウニシテ戴イタノデアリマ
ス、最近是等ノ監理、監督、指導等大變
旨ク行クヤウニナシタト聞イテ居リマ
ス、隨テ只今御心配ニナツタヤウナ點
モ逐次改善サレルコトト存ズル次第デ
ゴザイマス

満洲及ビ北支、ソレヽヽ地方ニ應ジタル方途ヲ今果敢ニ實施ニ移シツ、アル次第アリマス、極メテ困難ナ問題デアリマスガ、必ズヤリ遂ゲナケレバナラヌ、現ニ一部設備ノ改造ノ出來マシタモノニ付キマシテハ製品ヲ出しシテ居リマス、唯技術上ノ問題ハ總テ解決シテ居ルノデアリマスガ、實際ニ操作ノ問題ニ付キマシテ多少手直シヲスル、サウシテ逐次目標ニ近付キツ、アル、之ニ付キマシテモ最近ハ色々ナ創意工夫ヲ各方面カラ凝ラシテ居ルノデアリマスルガ、最近ニ於テモ問題ガ殆ド解決シタト云フヤウナ、技術ノ上ノアリマス、十分ニヤリマス

ル程度ニ之ヲ適當ナ機會ニ御済ラシ願ヒタイト云フコトヲ申上ゲテ、其ノ點ハソレ以上申上ダマセヌ、唯大袈裟ニ傳ヘラレル木製飛行機ニナルデヤナイ傳ト云フコトデアリマス、「ボーキサイト」ガ去年ノ十月、十一月入ツテ來タ狀況ヲ見マスト、只今ノ狀態ハ推察出來マス、サウ云フ狀態ニナツタシマスト、木製飛行機ガ大袈裟ニ何等カ解決シタガ如クニ傳ヘラレルノハ非常ニ危険ダト思ヒマス、實際ノ戰場ノ、今ノヤウニ航空戦闘ノ時ニ於キマシテ、一應斯ウ云フ會合ニ於ケル説明トシテハソレデ終了スルノデアリマスガ、國家ノ運命ガ之ニ懸ツテ居ルト云フコトニ、私ハ本當ニ憂慮スベキデハナイカト自分ダケハ考ヘテ居リマス、其ノ外ニマダ重大ナ問題トシテ油ノ問題ガアリマス、是ハ一言モ觸レズニ置ク方ガ國家ノ爲ニ忠實デアルト思ヒマスカヌ、觸レズニ置キマス、此ノ點ニ付テモ十分ニ御考慮ヲ願ヒマセヌド、或ハ航空機ヲ多量ニ作ルト云フコトサヘガ、他ノモノヲ考ヘナケレバナラヌ、八木サンガ仰シヤツタヤウニ、航空機以外ノ新兵器ト云フモノヲ考ヘナケレバナラヌ、數多ク作ルト云フコトガサウ大シタ意義ガナクナルノデハナイカ、此ノ點ニ付テ十分ノ御研究ヲ願ヒタイト、思フノデアリマス、今松根油ノ問題デアルトカ、或ハ諸カラ採ル「アルコール」ノ問題等モ考慮セラレテ居ルヤウデアリマスガ、其ノ量モ私ハサウ大シタモノデハナイト思フノデアリマス、サウ云フ點ニ關シマシテモ、從來モ非常ニ軍需省ニ御心配ニナツテイラツシヤルノデアリマスケレドモ、國民ハ非常ナ關心ヲ持ツテ居ル、關心ヲ持ツト云フコトハ、本當ニ心配ニ堪ヘナイノデ

アルト云フコトヲ國民ハ考ヘテ居ル、
政府ノ方デドウゾ具體的ニ——是ハ説
明ナサラナクテモ宜イ、現實ニサウ相
成ツテ、サウシテ比島ノ問題ガ、政府ノ
言ハレル通り天王山デアルト云フナラ
バ、之ヲ是非トモ急速ニ解決シナケレ
バ、悔ヒテモ及バナイ結果ヲ來スノデ
ハナイカ、左様ナ不吉ナコトヲ申上ゲ
モ出來ナインデアリマス、我ガ日本ハ
必ズ勝チマス、其ノ點ニ付テノ具體的
ノ方法ニ付テ十分ノ御檢討ト嚴密ナ御
研究ヲ願ヒタ伊思ヒマス、祕密會ノ
際ニ御洩ラシガアルト考ヘマスノデ、
私ハ此ノ程度デ質問ヲ打切りマス
○遠藤(三)政府委員 一言申上ゲタイ
ト思ヒマス、航空機ノ生産ニ關シマシ
テ一億國民ガ異常ナ關心ヲ持ツテ戴ク
コトニ關シマシテ、直接生産ニ責任ヲ
負ウテ居リマス長官ト致シマシテ心力
ヲ感謝シテ居ル次第ゴザイマス、又
同時ニ非席ニ御心配ヲ掛ケテ居ル點ニ
關シマシテハ、其ノ責任ノ重大ナルヲ
感ジマシテ恐縮シテ居ル次第ゴザイ
マスガ、併シ此處デ明カニ申上ゲタイ
ノデゴザイマス、航空機ノ生産ニ關シ
テハ決シテ暗イ將來ヲ持ツテ居リマセ
ヌ、私ハ寧ロ明ルイ氣持テ此ノ生産ニ
邁進シテ居ルノデゴザイマス、先般新
聞ニ航空機ノ事ハ遠藤ニ任シテ置ケト
云フ標題デ何カ出テ居ツタヤウデゴザ
イマス、是モ決シテ暴言ヲ申シテ居ルノ
デハゴザイマセヌノデ、私ノ心持ト致
シマシテハ、御承知ノ通り、吾々ガ軍
人ト致シマシテ金科玉條トシテ居リマ
ス作戰要務令ノ綱領ニ、協同一致ノ必要
ナコトヲ説イテ居ラレルノデアリマ
ス、其ノ一節ニ各其ノ職責ヲ重ンジ

一意任務ノ遂行ニ努力スルハ即ち協同一致ノ趣旨ニ合スルモノナリ」斯ウ示シテアリマスルノデ、其ノ意味ヲアノ新聞記者ニ申シタノデゴザイマス、心配モアルカモ知レヌケレドモ、唯心配シテ居ツタダケデハイカヌ、寧ロソレヨリモ各ノ任務ヲ一生懸命デ完遂スルヤウニシテ戴クコトガ取りモ直サズ航空機ノ増産ニモナルノデアル、ダカラ人ノコトヲ心配シタリヤキモキシテ干渉スルヤウナコトデナク、寧ロ自分ノ仕事ニ邁進シテ欲シイ、併シ私ノ氣持ト致シマシテハ、飛行機ノ増産ニ關シテ良イ智慧ガアリマシタナラバ、何時デゴザイマスガ、言葉足ラズニ色々却デモ拜聽致シマシテ改善進歩ニ資シタマシテ、其ノ點恐縮ニ存ジテ居リマス、私ノ氣持ハ只今申シタ通りデゴザイマス、明ルイ氣持デヤツチ居リマスト云フコト、良イ智慧ガゴザイマシタラバ、何時デモ拜聽致シマシテ改善ノ資ニ供シタイト云フ氣持デゴザイマス、ドウゾ宜シク御願ヒ致シマス○宮崎委員 只今ノ御聰明デ非常ニ御確信ガアル點ヲ拜聽シテ、大變自分ノ氣持ガ明ルクナツタ感ジガ致シマス、唯一切ノコトヲ遠藤長官ニ任せテ、サウシテ航空機ガ出來ルモノラバ洵ニ結構デアリマス、ドウゾサウ云フヤウナ氣持ニナリタイト思フノデアリマスラ、戦争ハ軍人ニ任シテ置ケ、オ前達ト云フモノハ國家ノ大キナ政治行動デアルト思フノデアリマス、戦争ダカラ、戦争ハ軍人ニ任シテ置ケ、オ前達ハ仕事ヲヤレ、斯ウ云フ御氣持デナイコトハ私ハ分ツテ居ルノデ、アリマスガ、サウ云フ風ニ取リマスト、戦争ノ

間ニハ政治ガナイト云フコトハイケナ
ノニアリマシテ、我々ガ仲々トシテ國
家ノ爲ニ憂ヘル此ノ氣持ト云フモノガ
私共ノ職責ナノデゴザイマス、ソンナ
コトハオ前達ノ心配スルコトデハナイ
ト云フ御氣持デナヨコトハ只今ノ御言
葉デ能ク分ルノデアリマスガ、何カ戰
爭ノ外ニ議貰ハ立タナケレバナラズ、
或ハ國民ハ戰爭ト云フコトヲ直接考ヘ
ナイデ自分ノ仕事ヲヤレ、髪床屋サン
ハ床屋ヲヤツテ居レ、斯ウ云フコトデ
若シ誤解サレマスト、國民ガ戰爭カラ
遊離サレルト云フコトハ實ニ憂慮ニ堪
ヘナイ、或ハウルサイカモ知レナイ、
實際任サレテ然ルベキ方ニ此ノ航空機
ノ生産ヲ任サレテ居ル場合ニ、色々言
ハレルノハウルサイカモ知レマセヌケ
レデモ、國民ガ關心ヲ持ツテ居ルト云
フコトハ――實際ハ此ノ大東亞戰爭ト
云フモノハ唯軍人ト官吏ダケガ戰ツテ
居ルト云フ氣持ニナルコトハ危險ナノ
デアリマシテ、ウルサイト思召スコト
ガアルカモ存ジマセヌケレドモ、國民
ハ本當ニサウ云フ氣持デアリマス、恐
テクハ戰爭ノ大キナ責任ハヤハリ政治
ニアルト思ヒマスノデ、斯様ナコトヲ
繰返シテ申シテ居ル次第デアリマス、
今後トモ尙ホ自分共ノ考ヘマシタ點ニ
付テハ、申上ゲルコトハ申シマスガ、
ウルサイト思召サズニ、國家興亡ノ際
ニハ國民ハ全部本當ニ心配シテ斯様ナ
コトヲ申上ゲテ居ルノダト云フコトヲ
御諒承願ヒタイノデアリマス、只今ノ
御言葉デ非常ニ私共明ルクナリ希望ヲ
持ツタト云フコトヲ喜シテ居ルト云フ
コトヲ申シテ、質問ヲ終リマス

○中原委員 遠藤長官ニ御禱ヲ申上
ゲ、御伺ヒヲ致シタノデアリマス、併シ
此ノ法案ニ直接ノ關係ハゴザイマセヌ
ガ、今力強ク遠藤長官ガ仰セラレタ、
明ルイ將來ヲ持ツテ居ル、安心セヨ、
大ニ安心シタ次第アリマス、併シ
安心ハ致シテ居リマスガ、尙ホ航空機
ノ増産並ニ軍器ノ増産、出來ルダケ多
量ニ、將來「ドイツ」ガドウナラウト、
「ロシア」ガドウナラウト、日本一國デ
全世界ヲ引受ケルマデヤラネバナラヌ
戰爭ダト思ヒマスノデ、安心ハシテ居
リマスケレドモ、其ノ上ニ尙ホ戰力増
強ニ付テノ遠藤長官ノ御高見ヲ伺ヒタ
イノデアリマス、ソレハ最近私共ノ常
平生尊敬シテ居ル作田先生ガ「征戰即
應ノ生產増強體制」ニ付テノ「パンフ
レット」ヲ御出しニナツテ居ルノヲ能
ク拜見致シマシタ、最近私共ガ色々考
ヘテ、日本ノ生產方面ニ付テノ何處カ
釘ガ一本缺ケテ居ルノデハナイカ、其
ノ缺ケテ居ル釘サヘシツカリスレバ
トニ付テ私共ハ能ク分ラナイノデアリ
マスガ、アノ「パンフレット」ヲ頂戴シ
テ、成程斯ウ云フ點ニ、我々ハ思ツ
居ツタケレドモ、而モ其ノコトガ具體
的ニ現ハセナイ點ガアルノカト思ツ
テ、非常ナ感銘ヲ持ツテ拜見シタ譯デ
アリマス、唯アノ點デ私共ガ不安ニ思
ヒマスノハ、今ノ軍需產業等ヲア、云
フ生產公社ニ移ス、作田博士ノ御見透
シデハ多少ノ動搖ガアルダラウ、併シ
永久ノ爲ニ多少ノ動搖モ忍ンデヤラナ
ケレバナラヌト云フ御意見ノヤウデア
リマスガ、實際ノ面ニ當ツテ居ラレ
ル、殊ニ大事ナ、一番日本ノ兵器トシ

テノ表道具デアル飛行機ノ實際ノ統帥ヲシテ居ラレル遠藤長官ガ御覽ニナリマシテ、飛行機工場等ヲサウ云フ公社ニ移ス際ニ、果シテサウ云フヤウナ間ノ動搖ガナク移セルモノデアリマセウカ、或ハ又多少動搖ガアツテモ、之ヲ國事ノ爲ニ至誠ヲ以テ押切ルベキガ本當力、其ノ點ニ付テノ御高見ヲ御伺ヒ出来レバ承リタイト思ヒマス

○遠藤政府委員 此ノ問題ハ非常ニ重要ナ問題デゴザイマシテ、又私ノ權限内ニ於キマシテハ斯ウヤルト云フコト

ハ申上ゲ兼ネル譯デゴザイマス、殊ニ私一片ノ軍人ニ過ギマセヌノデ、斯ウ云フ方面ノコトハ洵ニ素人ナモノデゴ

イマスノデ、常平生各方面ノ權威者ノ御意見ヲ拜聽致シツ、研究シテ居ル次第デゴザイマス、是ナリト信ズル所ハ

上司ニ具申致シマシテ實行ニ移シタ

トハ存ジマスルガ、アノ公社ノ問題ニ關シマシテハ、マダソコマデ私ニ確信

ゴザイマセズ、博士ノ御意見ヲ一般御紹介申上ゲマシテ、如何ニスベキ

カト云フ御意見ヲ拜聽シタ上ニ、ヤルベキコトハ上司ニ具申シテ實行ニ移シ

タイト思フ程度デゴザイマス、アノ「ペ

ンフレット」ヲ其ノ儘今私が實行シヨウト思ツテ居ル次第ハガザイマセ

ス、唯日本ニハドウシテモ皇道經濟

皇道勤勞觀ト云フモノヲ確立スル必要

ガアルノデハナカラウカトハ思ツテ居ル次第アリマス、一ツ其ノ程度デ御

諒承願ヒマス

○中原委員 コンナコトヲ御聽キスルノハ無理ダトハ存ジマシタガ、率直ニ肚ト肚ヲ打明ケテ云フコトデアリマスカラ御無理ナ御尋ネオ致シタ譯デアリマス、御返事ヲ戴イテ御心専特ハ能ク分リマシタ、勤労動員が完備シ尙且ツ

○遠藤政府委員 此ノ問題ハ非常ニ重

要ナ問題デゴザイマシテ、又私ノ權限

内ニ於キマシテハスウヤルト云フコト

ハ申上ゲ兼ネル譯デゴザイマス、殊ニ

私一片ノ軍人ニ過ギマセヌノデ、斯ウ

云フ方面ノコトハ洵ニ素人ナモノデゴ

イマスノデ、常平生各方面ノ權威者ノ

御意見ヲ拜聽致シツ、研究シテ居ル次

第デゴザイマス、是ナリト信ズル所ハ

上司ニ具申致シマシテ實行ニ移シタ

トハ存ジマスルガ、アノ公社ノ問題ニ

關シマシテハ、マダソコマデ私ニ確信

ゴザイマセズ、博士ノ御意見ヲ一般

御紹介申上ゲマシテ、如何ニスベキ

カト云フ御意見ヲ拜聽シタ上ニ、ヤル

ベキコトハ上司ニ具申シテ實行ニ移シ

タイト思フ程度デゴザイマス、アノ「ペ

ンフレット」ヲ其ノ儘今私が實行シヨウト思ツテ居ル次第ハガザイマセ

ス、唯日本ニハドウシテモ皇道經濟

皇道勤勞觀ト云フモノヲ確立スル必要

ガアルノデハナカラウカトハ思ツテ居

ル次第アリマス、一ツ其ノ程度デ御

諒承願ヒマス

○中原委員 コンナコトヲ御聽キスル

ノハ無理ダトハ存ジマシタガ、率直ニ

肚ト肚ヲ打明ケテ云フコトデアリマ

スカラ御無理ナ御尋ネオ致シタ譯デア

リマス、御返事ヲ戴イテ御心専特ハ能ク

分リマシタ、勤労動員が完備シ尙且ツ

○遠藤政府委員 此ノ問題ハ非常ニ重

要ナ問題デゴザイマシテ、又私ノ權限

内ニ於キマシテハスウヤルト云フコト

ハ申上ゲ兼ネル譯デゴザイマス、殊ニ

私一片ノ軍人ニ過ギマセヌノデ、斯ウ

云フ方面ノコトハ洵ニ素人ナモノデゴ

イマスノデ、常平生各方面ノ權威者ノ

御意見ヲ拜聽致シツ、研究シテ居ル次

第デゴザイマス、是ナリト信ズル所ハ

上司ニ具申致シマシテ實行ニ移シタ

トハ存ジマスルガ、アノ公社ノ問題ニ

關シマシテハ、マダソコマデ私ニ確信

ゴザイマセズ、博士ノ御意見ヲ一般

御紹介申上ゲマシテ、如何ニスベキ

カト云フ御意見ヲ拜聽シタ上ニ、ヤル

ベキコトハ上司ニ具申シテ實行ニ移シ

タイト思フ程度デゴザイマス、アノ「ペ

ンフレット」ヲ其ノ儘今私が實行シヨウト思ツテ居ル次第ハガザイマセ

ス、唯日本ニハドウシテモ皇道經濟

皇道勤勞觀ト云フモノヲ確立スル必要

ガアルノデハナカラウカトハ思ツテ居

ル次第アリマス、一ツ其ノ程度デ御

諒承願ヒマス

○中原委員 コンナコトヲ御聽キスル

ノハ無理ダトハ存ジマシタガ、率直ニ

肚ト肚ヲ打明ケテ云フコトデアリマ

スカラ御無理ナ御尋ネオ致シタ譯デア

リマス、御返事ヲ戴イテ御心専特ハ能ク

分リマシタ、勤労動員が完備シ尙且ツ

○遠藤政府委員 此ノ問題ハ非常ニ重

要ナ問題デゴザイマシテ、又私ノ權限

内ニ於キマシテハスウヤルト云フコト

ハ申上ゲ兼ネル譯デゴザイマス、殊ニ

私一片ノ軍人ニ過ギマセヌノデ、斯ウ

云フ方面ノコトハ洵ニ素人ナモノデゴ

イマスノデ、常平生各方面ノ權威者ノ

御意見ヲ拜聽致シツ、研究シテ居ル次

第デゴザイマス、是ナリト信ズル所ハ

上司ニ具申致シマシテ實行ニ移シタ

トハ存ジマスルガ、アノ公社ノ問題ニ

關シマシテハ、マダソコマデ私ニ確信

ゴザイマセズ、博士ノ御意見ヲ一般

御紹介申上ゲマシテ、如何ニスベキ

カト云フ御意見ヲ拜聽シタ上ニ、ヤル

ベキコトハ上司ニ具申シテ實行ニ移シ

タイト思フ程度デゴザイマス、アノ「ペ

ンフレット」ヲ其ノ儘今私が實行シヨウト思ツテ居ル次第ハガザイマセ

ス、唯日本ニハドウシテモ皇道經濟

皇道勤勞觀ト云フモノヲ確立スル必要

ガアルノデハナカラウカトハ思ツテ居

ル次第アリマス、一ツ其ノ程度デ御

諒承願ヒマス

○中原委員 コンナコトヲ御聽キスル

ノハ無理ダトハ存ジマシタガ、率直ニ

肚ト肚ヲ打明ケテ云フコトデアリマ

スカラ御無理ナ御尋ネオ致シタ譯デア

リマス、御返事ヲ戴イテ御心専特ハ能ク

分リマシタ、勤労動員が完備シ尙且ツ

○遠藤政府委員 此ノ問題ハ非常ニ重

要ナ問題デゴザイマシテ、又私ノ權限

内ニ於キマシテハスウヤルト云フコト

ハ申上ゲ兼ネル譯デゴザイマス、殊ニ

私一片ノ軍人ニ過ギマセヌノデ、斯ウ

云フ方面ノコトハ洵ニ素人ナモノデゴ

イマスノデ、常平生各方面ノ權威者ノ

御意見ヲ拜聽致シツ、研究シテ居ル次

第デゴザイマス、是ナリト信ズル所ハ

上司ニ具申致シマシテ實行ニ移シタ

トハ存ジマスルガ、アノ公社ノ問題ニ

關シマシテハ、マダソコマデ私ニ確信

ゴザイマセズ、博士ノ御意見ヲ一般

御紹介申上ゲマシテ、如何ニスベキ

カト云フ御意見ヲ拜聽シタ上ニ、ヤル

ベキコトハ上司ニ具申シテ實行ニ移シ

タイト思フ程度デゴザイマス、アノ「ペ

ンフレット」ヲ其ノ儘今私が實行シヨウト思ツテ居ル次第ハガザイマセ

ス、唯日本ニハドウシテモ皇道經濟

皇道勤勞觀ト云フモノヲ確立スル必要

ガアルノデハナカラウカトハ思ツテ居

ル次第アリマス、一ツ其ノ程度デ御

諒承願ヒマス

○遠藤政府委員 此ノ問題ハ非常ニ重

要ナ問題デゴザイマシテ、又私ノ權限

内ニ於キマシテハスウヤルト云フコト

ハ申上ゲ兼ネル譯デゴザイマス、殊ニ

私一片ノ軍人ニ過ギマセヌノデ、斯ウ

云フ方面ノコトハ洵ニ素人ナモノデゴ

イマスノデ、常平生各方面ノ權威者ノ

御意見ヲ拜聽致シツ、研究シテ居ル次

第デゴザイマス、是ナリト信ズル所ハ

上司ニ具申致シマシテ實行ニ移シタ

トハ存ジマスルガ、アノ公社ノ問題ニ

關シマシテハ、マダソコマデ私ニ確信

ゴザイマセズ、博士ノ御意見ヲ一般

御紹介申上ゲマシテ、如何ニスベキ

カト云フ御意見ヲ拜聽シタ上ニ、ヤル

ベキコトハ上司ニ具申シテ實行ニ移シ

タイト思フ程度デゴザイマス、アノ「ペ

ンフレット」ヲ其ノ儘今私が實行シヨウト思ツテ居ル次第ハガザイマセ

ス、唯日本ニハドウシテモ皇道經濟

皇道勤勞觀ト云フモノヲ確立スル必要

ガアルノデハナカラウカトハ思ツテ居

ル次第アリマス、一ツ其ノ程度デ御

諒承願ヒマス

○遠藤政府委員 此ノ問題ハ非常ニ重

要ナ問題デゴザイマシテ、又私ノ權限

内ニ於キマシテハスウヤルト云フコト

ハ申上ゲ兼ネル譯デゴザイマス、殊ニ

私一片ノ軍人ニ過ギマセヌノデ、斯ウ

云フ方面ノコトハ洵ニ素人ナモノデゴ

イマスノデ、常平生各方面ノ權威者ノ

御意見ヲ拜聽致シツ、研究シテ居ル次

第デゴザイマス、是ナリト信ズル所ハ

上司ニ具申致シマシテ實行ニ移シタ

トハ存ジマスルガ、アノ公社ノ問題ニ

關シマシテハ、マダソコマデ私ニ確信

ゴザイマセズ、博士ノ御意見ヲ一般

御紹介申上ゲマシテ、如何ニスベキ

カト云フ御意見ヲ拜聽シタ上ニ、ヤル

ベキコトハ上司ニ具申シテ實行ニ移シ

タイト思フ程度デゴザイマス、アノ「ペ

ンフレット」ヲ其ノ儘今私が實行シヨウト思ツテ居ル次第ハガザイマセ

ス、唯日本ニハドウシテモ皇道經濟

皇道勤勞觀ト云フモノヲ確立スル必要

ガアルノデハナカラウカトハ思ツテ居

ル次第アリマス、一ツ其ノ程度デ御

諒承願ヒマス

○遠藤政府委員 此ノ問題ハ非常ニ重

要ナ問題デゴザイマシテ、又私ノ權限

内ニ於キマシテハスウヤルト云フコト

ハ申上ゲ兼ネル譯デゴザイマス、殊ニ

私一片ノ軍人ニ過ギマセヌノデ、斯ウ

云フ方面ノコトハ洵ニ素人ナモノデゴ

イマスノデ、常平生各方面ノ權威者ノ

御意見ヲ拜聽致シツ、研究シテ居ル次

第デゴザイマス、是ナリト信ズル所ハ

上司ニ具申致シマシテ實行ニ移シタ

トハ存ジマスルガ、アノ公社ノ問題ニ

關シマシテハ、マダソコマデ私ニ確信

ゴザイマセズ、博士ノ御意見ヲ一般

御紹介申上ゲマシテ、如何ニスベキ

カト云フ御意見ヲ拜聽シタ上ニ、ヤル

ベキコトハ上司ニ具申シテ實行ニ移シ

タイト思フ程度デゴザイマス、アノ「ペ

ンフレット」ヲ其ノ儘今私が實行シヨウト思ツテ居ル次第ハガザイマセ

ス、唯日本ニハドウシテモ皇道經濟

皇道勤勞觀ト云フモノヲ確立スル必要

ガアルノデハナカラウカトハ思ツテ居

ル次第アリマス、一ツ其ノ程度デ御

諒承願ヒマス

○遠藤政府委員 此ノ問題ハ非常ニ重

要ナ問題デゴザイマシテ、又私ノ權限

内ニ於キマシテハスウヤルト云フコト

ハ申上ゲ兼ネル譯デゴザイマス、殊ニ

私一片ノ軍人ニ過ギマセヌノデ、斯ウ

云フ方面ノコトハ洵ニ素人ナモノデゴ

イマスノデ、常平生各方面ノ權威者ノ

御意見ヲ拜聽致シツ、研究シテ居ル次

第デゴザイマス、是ナリト信ズル所ハ

上司ニ具申致シマシテ實行ニ移シタ

トハ存ジマスルガ、アノ公社ノ問題ニ

關シマシテハ、マダソコマデ私ニ確信

ゴザイマセズ、博士ノ御意見ヲ一般

御紹介申上ゲマシテ、如何ニスベキ

カト云フ御意見ヲ拜聽シタ上ニ、ヤル

ベキコトハ上司ニ具申シテ實行ニ移シ

タイト思フ程度デゴザイマス、アノ「ペ

ンフレット」ヲ其ノ儘今私が實行シヨウト思ツテ居ル次第ハガザイマセ

ス、唯日本ニハドウシテモ皇道經濟

皇道勤勞觀ト云フモノヲ確

○追水政府委員 指定サレル場合モゴ
ザイマス

サイマニア

○赤間委員 是デ終リマシタ
○久山委員長 一宮君
○一宮委員 今、御説明デ一寸ムモ矣

一、軍需金融機關、全ノ役員明テ、和モ有
リタイノデアリマスガ、第七條ニ於テ
ハ、軍需金融機關ハ其ノ職員ノ中ヨリ
ハ、年俸三十萬圓者ニ付、宣言金出資官等ヲ

各機関事業者ニ付テ實業金融機関事業者選任スル、サウシテ其ノ選任サレタ人ハ金融機關ト事業者トノ間ニ立ツテ資金ノ效率的使用ニ努メル、斯ウ云フコトニナツツテ居ルノデアリマスガ、此ノ趣意ヲ徹底セシムルガ爲ニハ、結局銀行ノ方カラ經理ノアルラフ自分ノ融通ノ吉レ所、宣言實質七八三八ニ至ル。

道シテ居ノ所ノ軍需會社ニ入レ給瓦ノヤルト云フコトニサラナイト徹底シナインデヤナイカト思ヒマスガ、サウ云フコトヲ豫想サレテ居ルノデアリマスカ、若シソレヲ豫想サレテ居ルノデアルト致シマスマレバ、サウ云フ事務ニ當ルノニハ相當經驗ノアル人デナケレバ、到底經理事務ヲ扱フコトハ困難デアルト思ヒマス、サウ云フヤウナ要員ノ確保ニ付テハドウ云フヤウナ御考ヘデアリマスカ、ソレヲ一ツ承リタイ

○迫水政府委員　此ノ第七條ノ軍需金融擔當者ノ問題デアリマスガ、金融機關カラ事業者ニ對シマシテハ經理係ヲ派遣スル、金融機關ノ代表者ヲ軍需會社ノ方ノ經理係ニスルト云フ風ナ考ヘ方ハ制度ノ問題トシテハ持ツテ居リマヌ、事實上軍需會社ノ方カラ或ハ金融機關對シテ經理係ヲ入レテ貰ビタイト云フコトヲ要求致シテデモ參リマスレバ、ソレハ其ノ場合ノ場合テ然入ツテモ差支ヘナイト思ヒマスガ、制度トシテサウ云フコトヲ考ヘテハ居リマセヌ、寧ロ銀行全體ガ軍需會社ノ經理部ト云フヤウナモノヲ代行

シテ行クヤウニナリハシナイカ、此ノ法律ノ運用ガ非常ニ旨ク參リマスレ
事業者トノ地域のノ關係アルトカ、或ハ當該得ル資力ノ總額デアルトカ、

法律ノ運用が非常ニ旨ク參リマアレ

バ、銀行全體ガ會社ノ經理部ノ代行ヲ
スルヤウナ立場ニナリハシナイカト云
タイト思ヒマス、御説ノ通り、放ツテ
置アバ、或レ寺尾ニ企画費幾萬円ニ及
フコヽク象徴ノテ呂レ次第ダゴザイマ

（略）
要員ノ問題關、御質問ハ其ノ軍需
金融擔當者トノ關聯ニ於テノ御質問
限リマスヌノデ、其ノ場合ニテハ當
亥辰丁、酉寅子、未戌丑ノ年也。且
ハ集中セヌラニトナイトモ、

ヤウテニサハベガ至體の三金融機
關ノ要員ハ逐次他ニ徵用等ノ爲ニ減少
シツ、アリマシテ、私共ノ見ル所デ
ハ、今日既ニ最小限度ニ達シテ居ルヤ
ウニ存ジマスルノデ、今後ハ之ヲ出来
ルダケ各人ノ能率ヲ上ゲテ行クコトニ
努メマスト共ニ、數ニ於キマシテモ出
来レズアヒヲ唯ノニ參リタゞ、アソブ
アレ使吉ニシテ、ゾダゾマスクカラ、我ベ
○久山委員長 中整君——中整君ニ一
寸申上ゲマスガ、大藏大臣ガ御見エニ
ナリマシテ、實ハ池本君ノ方ノ質疑ガ
アレ使吉ニシテ、ゾダゾマスクカラ、我ベ

○一宮委員 序ニモウ 一ツ承ツテ置キ
タイノデアリマス、第一條及び第二條
ノ關係ノコトデゴザイマスガ、政府ノ
方デ 金融機關ヲ 如何ナル軍需會社
ニハ如何ナル金融機關ヲ以テ金融サセ
ルト云フコトヲ指定サレルコトニナツ
テ居ルヤウデアリマスガ、サウスル
ト、自然良イ軍需會社ニ資金ヲヤリタ
イト云フノデ、金融業者ノ間ニ、詰リ
得意ト申シマスカ、其ノ方ノ争奪が起
ルデアラウト思フノデアリマスガ、ソ
レハ勿論政府ノ方デ調節サレルデアリ
マセウガ、其ノ調節ノ範圍ハ何處ニア
ルカ、又多分は舊來ノ金融ヲヤツテ
居ツタ所ヲ標準トシテヤラレルト云フ
コトデモアリマセウケレドモ、鬼ニ角
ドウ云フ標準ヲ以テ此ノ事業者ニ對ス
ル金融機關ノ決定ハサレルノカ、其ノ
大體ノ標準ヲ承リタイ
○迫水政府委員 指定ノ軍需金融機關
ヲ特定スルニ付キマシテ最モ多ク考慮
ヲ拂ハレルモノハ從來ノ取引ノ關係タ
リ思ヒマス、其ノ他其ノ銀行ノ供給シ
テ居リマス

○中楚委員 質疑ト云フヨリハ寧ロ御
説明ヲ願ヒタイト思ヒマス、生命保險
ノ方第十九條ノ五ニ「前各號ノ業務ニ附
帶スル業務」トアリマスガ、是ハ
具體的ニ申シマストドウ云フヤウナコ
トデアリマスカ、御説明ヲ願ヒマス
○吉村政府委員 「前各號ノ業務ニ附
帶スル業務」ト申シマスノハ、差當リ
マシテハ特ニゴザイマセスケレドモ、
將來此ノ中央會が相當な資產ヲ持ツタ
ヤウナ場合ニ於キマシテハ、自分ノ事
務所ノ一部ヲ外ニ貸スト云ツタヤウナ
仕事ヲヤル、サウ云フ場合ガ將來ニ於
キマシテハ想像サレナイコトモナイト
存ジマス

○中楚委員 其ノ次ニ「前項第一號ノ
再保險ノ引受ヲ爲ス金額ハ命令ヲ以テ
之ヲ定ム」トアリマスガ、之ニ付テノ
大體ノ御豫定ト云フモノガゴザイマス
カ、之ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○迫水政府委員 命令ヲ以テ金額ヲ限
定ラスル場合ガアルコトヲ決メテ居ル
ノデアリマスルガ、此ノ命令ノ内容ニ

付テハ目下研究中デゴザイマス、古ク
契約ヲ致シマシタモノニ付キマシテ

美絵子登シテシタモノニ付キマシテ

ハ、大體金額ノ如何ヲ問ハズ總テ再保
險ヲ引受ケヨウト云フコトニナルト思
ヒマスガ、政寄ガ戰爭危險ノ再保僉ノ

政府不動産危険保険引受け
引受ラスルコトガ外部ニ發表サレマシ
タ以後ノ新規契約ニ付キマシテハ、一
定ノ金額ヲ以テ限界付ノタゞ、考へ

業界ノ便宜、或ハ總額ガ餘りニ大キタ
ナラナイヤウニ、色々ナ配慮ノ下ニ研
究中デゴザイマシテ、尙ホ正確ニ決定
ニ至ツテ居リマセヌ
中止観 次ニ軍需金融ノ方ノ

民生活ノ確保、是ハ此ノ難局突破ノニ

大麦柱アルエトハ申ヌマテモゴザイ

マセヌ、實ハ總力戦ト致シマシテハ是
ハニシテ一ツノ問題デアルノデアリ
マヌガ、此、兩者ヲ通ジニ、茲ニム

此ハ兩者ニ過シテ、
ハ物價ト價格政策ニ付キマシテ、大藏
當局トソレカラ國民生活確保ノ面カラ

見マシテ農商務局ニ御伺ヒ致シタイノ
デアリマス、ソレド御答釋ヲ得マ
スレバ結構ト思ヒマス、一體此ノ物價
政策ノ考へ方、是ハ申スマデモナイコ
トデアリマスガ、假リニ理論的ニ考へ
テ見マスト、斯ウ云フ戰時ニ於キマシ
テ私ハ二ツノ段階ガアルノデヤナイカ

シテハ、戦爭遂行ノ爲ニ是ハ低物價政
策ヲ執ツテ行ク所ガ段々進ンデ參リマ
シテ、其ノ低物價政策ト生產増強トナ
カ點トガ混ガラカツテ參リマスト少シマ
變ツテ參リマシテ、物價政策其ノモノ
ヲ其ノ生產増強ノ手段トシテ使ツテ行
カナケレバナラス、即チ戰爭完遂ノ目
的ハ一ツデアリマスケレドモ、戰爭完
遂ノ爲ニ必要物資増産即戰力增强ノ一
方策トシテ各政策ヲ考ヘて行カナケレ
バナラヌデヤナイカ、サウスルト低
物價政策一本デ行キマスルモノヲ假リ
ニ第一期ト致シマスルト、次イデ來ル
モノガ第二期、ソコデ私ハ今日ノ我が
國ノ此ノ段階ニ於テハ、此ノ理窟カラム
言ヒマシテモ、無論疾ウノ昔ニ第二期
ニ入ツテ居ルモノト考ヘルノデアリマ
ス、ソコデ實際ノ我が國ノ價格政策ノ
歩ミ方ヲ見テミマスト、要ラヌコトノヤ
ウデアリマスガ、大正六年アノ米騒動
ノアリマシタ時ニ、農商務省令第二號
以來昨年ノ八月三十日ニ出タ生鮮食
品價格特別處置ニ關スル件、是マデノ

法令ヲ私ノ見マシタ所デハ價格ニ關シ
マスルモノ約二十種類位アルト思ヒマ
スガ、其ノ一ツノノ法令ノ措置ノ足
取リヲ見テミタノデアリマス、遠イコ
トハ措キマシテ、支那事變勃發以來、
即チ十二年七月支那事變後ニ輸出入品
等ニ關スル臨時措置法ト云フモノガ、
其ノ九月ニ制定サレ、次イデ十四年ノ
九月ニ例ノ九・一八價格停止令ガ出マ
シタ、サウシテソレガ第一次、第二次
ニ亘ツテ改正サレ、其ノ第二次ノ改正
ハ十六年ノ九月デアリマシタカ、大體
是位マデガ我國ト致シマシテ第一期
ノ低物價政策時代デアツタノデアラウ
ト存ジマス、所ガ其ノ頃既ニ時局ノ推移
ニ依リマンシテ低物價政策ト生產增强ト
ノ間ニ矛盾ヲ感ズルヨトニナツタ、ソ
コデ十六年ノ八月末ニ低物價ト生產增
強ノ調整ニ關スル件ト云フモノガ、物
價對策審議會ニ於テ決定ニナツテ居リ
マス、茲ニ補給金ヤ二重價格制度ト云
フモノガ芽ヲ出シテ參ツタノデアリマ
ス、サウスルト茲ニ大東亞戰爭ガ始マ
リマシタ、サウシテ十八年ノ四月ニハ
緊急物價對策要綱ト云フモノガ出來
タ、サウンシテ低物價政策ト生產擴充ノ
矛盾ニ對處致シマシテ、價格報獎制度
ト云フヤウナモノガ出來上ツテ參りマ
シテ、先程申シマシタ昨年ノ八月ニハ到
頭生鮮食料品價格特別措置、是ハ一部
ニ於キマシテ自由價格のナ處置ヲモ認
メラレルヤウナコトニナツタ譯デアリ
マス、斯ウ云フ風ニ理窟カラ申シマシ
テモ、實際ノ國家ノ處置ノ跡ヲ見マシ
テモ、今日ニ於テハ觀念的ナ低物價政
策ト云フモノハナインデアラウト思ヒ
マス、所ガ世間ニハ動モスレバ今日ニ
於キマシテモ、尙ホ低物價政策一本ノ
ヤウナ響キガ持タレテ居ルノデハナイ

カト思ヒマス、無論ソレハ基調ニ於テ
ハ低物價政策ト云フモノハ離レルコト
ハ出來ナインデアリマセウケレドモ、
併シ事實ニ於キマシテハサウバカリニ
ハ行カナインデハナイカ、ソユデ今日
ノ國民生活ノ實體デアリマスガ、是ハ
言フマデモナイコトデアリマス、多ク
申シマセヌケレドモ、必需物資ハ大體
軒並ニ不足シテ居ル、強ヒテ之ヲ入手
シヨウトシマスレバ、公定價格或ハ規
格ト云フモノハ殆ドアツチナキガ如
シ、昨日モ農商大臣ハ米ノ基準配給量
二合三勺ハ之ヲ確保スルト言ハレテ居
リマスガ、併シナガラ二合三勺ハ米ニ
豫算サレタモノデアリマシテ、代替督
給ト云フモノガ相當ニ入ツテ居ル、二
合三勺ト言ハレマスガ、此ノ中ニハ諸
モ入ツテ居ル、諸ハ宜イ譯デスケレド
モ、兎ニ角サウ云フヤウナモノガ代替
配給トシテ、或ル地方ニ於キマシテハ
ソレガ一箇月ニ五十%、又或ル地方ニ
於テ十一月ニ私カ調查致シマシタ所ニ
依レバ、實ニ七割三分ト云フモノガ代
替食糧ニナツテ居ル、ダカラ一箇月ニ
二十二日デス、サウシテ米ハ十日間ダ
ツタ、斯ウ云フ實例ガアルノデアリマ
ス、無論是ハ決シテ不平ヲ言フノデハ
アリマセヌガ、事實サウ云フヤウナコ
トニナツテ居ル、一體此ノ配給制度ガ
出來マシタガ、配給生活ハ其ノ全生活
ノ中ノ何「パーセント」ガ出來テ居ルノ
カ、是ハ愛知縣ノ經濟警察ノ調べデア
リマスガ、假ニ愛知縣ノ例ヲ取ツテ見
マスルト云フト、家庭配給ガ四一%ダ
ト云フコトヲ言ツテ居ル、其ノ外ノモ
ノハ色々ナ他ノ「ルート」カラ入ツテ來
活ノ中ノ四一%、其ノ外ハ色々ナコト
デ鬼ニ角苦慮セネバナラナイノデア

ル、斯ウ云フヤウナ實例デアリマス、
ソコデ御承知ノ通り、全體デハアリマ
スマイガ、一ツ／＼ノ例ヲ聞イテ見マ
スルト、實ニ戰慄スベキ所ノ幾多ノ
實例ガアルコトハ御承知ノ通りデア
リマス、ダガ國民ノ覺悟ハ出來テ居ル
決シテ不平ヲ言フノデハアリマセヌ、
能ク忍ンデ居ル、無論此ノ所謂闇ト云
モノハ滔々トシテ、殆ド一種ノ價格
水準ヲ形成シタ形ニナツテ居リマス
ガ、併シ大多數ノ者ガ無論之ヲ好ンデ
犯シテ居ルノデハナイ、或ル意味ニ於
キマシテハ、是ハ已ムヲ得ズサウナツ
テ居ルノデアル、ソコデ申シテハ恐レ
入リマスガ、實際考ヘテ見マスト、或
ル場面ニ於キマシテハ一體犯ス者ガ非
カ、犯サセル者ガ是カト云フヤウナコ
トモアリ得ルト思フノデアリマス、ソ
コデ此ノ戰爭ヲ乘切ル爲ノ基調デアリ
マスル所ノ國民生活ノ面カラ見マシ
テ、一體ドウシテモ此ノ國民ノ苦難ト
云フモノハ、今日打開スルコトガ出來
ナイノカ、輕減スルコトガ出來ナイノ
カドウカト云フコトヲ、其ノ御世話ヲ
願ツテ居リマスル所ノ當局ニ於カレマ
テシ、本當ニ眞剣ニ考ヘテ貰ハケレバ
ナラムト思フノデアリマス、ソニニ政治
ト云フモノガアル、私ハ或ル新聞ノ讀
者欄デ斯ウ云フモノヲ見タ、味噌汁政
治ト云フモノガ書イテアル、我々下層
ノ民衆ニハ高級政治ハ分ラナイ、味噌
汁ヲ朝々ニ缺カサナイヤウニスルトカ、
街ノ浴場ヲ、セメテ盜難ヲ心配シナク
テモ落着イテ入ツテ居ラレルヤウニシ
テ吳レルトカ云ツタコトガ、何モ彼モ
統制々々ノ今日ノ政治ト心得テ居ル、
斯ウ云フ讀著ノ悲痛ナ聲ガ出テ居
リマス、ダカラドウシテモ出來ナイ
モノナラ仕様ガナイガ、出來ルモノナ

ラバ本當ニ眞劍ニ考へテヤツテ、何ト
カ宜イヤウニシテ、サウシテ此ノ戰局
ヲ済切ルヤウニシテ貰ハナケレバナラ
ヌ、出來ルカ出來ヌカ、私ハ無論其
ノ中ノ或ル部分ト云フモノハ、ドウシ
テモ此ノ戰時下ニ於キマシテ、出來ニ
クイコトモアラウト思ヒマス、併シ私
ハ其ノ大部分ト云フモノハ、斷ジテ行ヘ
バ救ヒ得ルモノト考ヘルノデアリマ
ス、ソレデ今日生活必需物資ノ不足、
ソレハ何處ニアルノカ、其ノ原因ハ減
產ガ第一、第二ニハ減產ノ上更ニ偏
在シテ居ルノデアリマス、ソコデ其ノ
對策ト致シマシテハ申スマデモナク是
ハ増產ト流通ノ圓滑ヲ期スル、サウ云
フ流通ノ不圓滑、或ハ減產ノ原因ガ何
處ニアルカト云フコト、結局色々ナ點
モアリマスケレドモ、價格ト云フモノ
ガソヨニ一大主要ナル支障ヲナシテ居
ルモノト考ヘルノデアリマス、今日地
方、中央ヲ通ジマシテ丸公ハ八十万ア
ルト言ハレテ居ル、御承知デモアリマ
セウガ一體其ノ中ノ幾許ガ、本富ニ實
行サレテ居ルノカ、ソレ程ニ現實ニ遊
離ヲシテ居ル、取締ノ方面ニ於キマシ
テモ御承知ナノデアルガ、ソレガ遊離
シテ居ルコトガ、モウ或ル部分デハ手
ガ付ケラレヌノデハナイカト私ハ思
ア、手ガ付カヌデ放ツテ置カレルノデ
ハナイカ、事實上何トモ出來ナイ、ソ
レ程現實ニ遊離シテ居ル、サウシテ
丸公々々ト云フコトヲ言ツテ居ル、是等
ノ點カラ見マシテ私ハ前ノ理窟ヤ又實
際ノ法規ノ足取カラ見マシテモ、今日
價格ノ方面デ行キ得ルモノナラバ、軍
需物資ノ點モアリマスルガ、是ナドハ
宜イ部分ガ大部分デハナイカ、寧ロ過
ギタルモノガ多イガ、獨リ國民生活ノ
必需物資ニ限リマシテハ、ドウカスル

ト觀念的、名目的ナ低物價政策ニ因ハ
レテ居ル、サウンテ甚ダシイ不均衡ヲ
生ジテ居ルモノト私ハ思フノデアリマ
ス、一體斯ウ申シテハ恐縮デスガ、政
府ハ低物價政策々ト言ハレテ居ル
ガ、一體ヤツテ居ラレルノハドウカト
云フト尻ガ括ケテ居ルデヤナイカ、煙
草ノ値上、是ハ色々ト寧ナ説明ガアリ
マス、平時價格幾ラ、戰時價格幾ラ、
敷島一圓、併シ幾ラ文句ヲ付ケラレテ
モ一圓ハ一圓デアル、敷島一ヶ米二
升ニナツテ居ル、是ハ何ト言ハレテモ
ヤハリ價格政策ノ面カラ見ルナラバ私
ハ引上ニナツテ居ルモノト思ヒマス、
而モ是ハ頗タシテ上ゲラマシテ、
最近ニ於キマシテモ是テ計算シテ見ル
ト通計十四億二千萬圓上ツテ居ル、又
運通省ハ運通省デ鐵道運賃、郵便料金
ヲ上ゲラレル、鐵道運賃ハ昨年四月ト今
回ト通ジマシテ六億五千萬圓上ツテ居
ル、郵便料金ハドウカ、前年一億二千
萬圓上リマシタガ、今度上リマスノハ
幾ラニナリマスルカ、是モ合ハセレバ
相當ノ額ニナルダラウト思フ、是ハ物
價政策デナイト言ハレルカモ知レマセ
ヌガ、ソレトノ面ニ於キマシテ是ハ
財政收入ノ増加デアルトカ色々ナ固有ノ
目的ヲ以テ居ラレルノデアリマスケレ
ドモ、價格政策ノ面カラ見ルナラバ何
トシテモバラヽデアル、實地ニ付テ
見マスルト、此ノ間モ私ハ斯ウ云フコ
トヲ發見シタノデスガ、運通省ガ小運
送ノ運賃ヲ昨年ノ九月ニ上ゲタ、上ゲ
過ギタト云フノデ流石ニ十月ニハ引下
ゲマシタ、其ノ影響トシテ斯ウ云フコ
トガアル、今日木炭ガナクテ震ヘテ居
リマスガ、其ノ木炭一俵ノ小賣「マー
ズン」ガ二錢九厘、所ガ其ノ引込ミノ
運賃ガ五錢一厘掛ル、小賣「マーズン」

ガ二錢九厘半、ソレニ對シテ引込ミ運
者ハ動キヤウガナイ、ソレデモ赤字デ
モ動ケ、日本精神デ動ケト、斯ウ言フ
ノナラ別デアリマスルガ、其ノ生活ヲ
認メテヤラウト云フノデアルナラバ、
コソナコトデハ動キヤウガアリマセ
ヌ、ソコデ私ハ斯ウ云フ觀點カラ一體
政府ハ今日ニ於キマシテ此ノ物價政策
ト云フモノヲ唯繼足シヽニヤツチ行
クノデヤナクテ、根本的ニ物價政策ノ
基本的ナ考ヘ方ヲ再検討ナサツテ、サ
ラリト出直シテ、サウシテ戰力物資ノ
接ニ效果ノアルヤウニ、根本的ニ考ヘ方
ヲ直サレル、隨テ具體的ニ其ノ價格ノ
改訂ヲ斷行セラレタラドウカ、首相ハ
強力政治ト言ハレマスルケレドモ、一
體作ツテ置イテソレヲ犯ス者ガ是カ非
カハ別トシマシテ、兎ニ角犯シテ居
ル、ソレヲドウモンナイ、サウスルト
正直ナ者ハ其ノ繩張ニ入レマセヌ、又
良心的ニモ入レマセヌ、又少シ怖イト
云フ考ヘカラモ入ラナイデantzトシテ
居ル、心臓ノ強イノガ一寸入ツテ見
ル、サウスルトヤハリ得ダ、ソコデ正
直ナ者ガ損ラスル、不正直ナ者、或ハ
犯シタ者ガ不正直トハ言ハナクテモ、
其ノ儘通ルト云フ、茲ニ勸善懲惡ト云
フモノガ行ハレテ居ラヌ、信實必罰ガ
案レテ居ル、ソコヲ考ヘラレテ、合理
的ナ物價ヲ作ラレテ、其ノ代リソレヲ
勵行スル、私ハ強力政治ト云フモノハ
畢竟勸善懲惡、信實必罰ヲハツキリサ
セルコトダケダ思ツテ居ル、サウス

トレバ、戦意ハ忽チ昂揚スル、不正直ナ者ハヤリツ放シテ得ヲシテ居ルト云フコトデハ、一體農商省局、生活必需物資ノ價格ニ付テ、又大藏省局ハ物價政策ノ根本的ナ考へ方ニ付テ、テドウ云フ御考ヘヲ持ツテオイデニナルノカ、第一段トシテ御伺ヒ致シタイト思ヒマス

○石渡國務大臣 私モ支那事變以來役人ヲ致シテ居リマス間、物價政策ニ相當携ツテ來タノデスガ、今アナタノ言ハレタコトヲ全部私ハ肯定致ス譯デハゴザイマセヌ、アナタノ仰シヤツタ中ニハ御尤モナコトモアルシ、又少シ仰シヤリ過ギノ點モアルヤウニ思フ、併シナガラ只今ノ物價政策ガ少々力強ク推サレテ居ナイト云フコトニ付キマシテハ、私モ左様ニ考ヘテ居リマス、今回政府ニ於キマンテ物價審議會ヲ設ケ、又其ノ事務局ヲ内閣ニ置キマシテ、強力ニ推進致サウト云フコトヲ目下進メテ居リマスノモ全ク其ノ爲ニアルト存ジマス

○小山政府委員 只今ノ池本サソノ御説ニ付キマシテハ、結論ハ大藏大臣ガ御答辯ニナツタ通りデアリマス、物價政策ニ付キマシテハ色々考慮シテ居マスガ、池本君御指摘ノヤウナ點ハ相當アルノデアリマス、併シ經濟界ノ變化、時局ノ變化ニ伴ヒ、其ノ間ニチグハグノ感ヲ懷カレテ居ルノデアリマスガ、出來ルダケ其ノ時々即應スルヤニ改訂シタイト云フ考ヘヲ持ツテ居リマス、内閣ニ審議會ガ出來マシタナラバ、農商省ノ方デハヤハリサウ云フ意味合デ意見ヲ持出シテ、之ニ即應スルヨリ仕方ガナイト考ヘテ居リマス

○池本委員 一體主要食糧ナドノ増産

ニ付キマシテ價格政策が魅力ヲ失ツタ
公ガ實行サレ居ラヌ、抜ヶ道ガアル
カラ魅力ガナイト云フノデアリマシ
テ、決メタモノヲ勵行ナサルナラバ、
引上、引下ト云フ價格政策が旨ク行ク
ト考ヘル、ノミナラズ、御考へラ願ヒ
タイノハ、丸公ヲ引上げテソレヲ勵行
セラレルナラバ、實際ノ國民ノ生活負
擔ト云フモノハ輕減セラレルノガ今日
ノ實情デス、是等ノ點カラ考へマン
テ、尙ホ一ツ十分御考へラ願ヒタイト
思ヒマス、申上ゲタイコトハ澤山アリ
マスケレドモ、時間ヲ急ギマスル關係
カラ申上ゲマセヌ、大藏當局ニ伺ヒマ
スルガ、私ハマアシツヨクナルカモ分
リマセヌケレドモ、一體此ノ低物價政
策ト云フモノニ付テ、今ヨリ見テドウ
云フ風ニ御考へニナツテ居リマスルノ
カ、其ノ點ニ付テ、モウ一ツハツキリ
ト御答へガ願ヘレバ結構ダト思ヒマス
○石渡國務大臣 低物價ト云フ限度
ハ、其ノ時々ニ依ツテ違フト思フノデ
アリマスガ、併シナガラ戦時ノ物價ト
云フモノヲ、普段ノ物價ト同様ニ、之
ヲ放シテ置ク譯ニ行カヌト云フ場合ニ、
ソレデハ物價ヲドウスルカ、物價ハ戰
時ニ於テ出來ルダケ低ク持ツテ行クノ
ガ、即チ低物價政策ト言ハレテモ差支
ヘナイデハナイカト思フノデアリマス
ガ、併シナガラ其ノ低物價政策ト云フ
意味ガ、全然物價ヲ動カサヌノダ、斯
ウ云フ意味合カト云フト、左様ナ譯デ
モナイ、若シ周圍ノ情勢カラシテ、全

然戰爭ノ始マツタ時分カラ、物價ヲ動カサナナイデ行ケルノデアルナラバ、ソレニ越シタコトハナイ、物價ハ低イ方ガ宜イト思フノデアリマス、總テノ關係カラ、殊ニ戰爭中ハ、左様ダト思フノデアリマスガ、併シナガラ左様三行キ難キ事情モ發生シテ來ルノデアリマスカラ、一ツ價格テ何處マデ押シテ行クト云フモノデヤナイ、併シナガラ戰爭ヲ致シテ居ル際ノ物價ト云フモノハ、得テ高目ニ相成ルモノデアリマスルカラ、ソレヲ低目ニヽニ政治テ持ツテ行カウト云フ所ガ、私ハ此ノ物價政策ノ根源ナアルト思フノデアリマス、能ク所謂低物價政策ト云フノモ、此ノ物價ヲ低目ニヽ置カウト云フ、斯ウ云フ考ヘカラ、低物價政策ト言ハレルデアラウト思フノデアリマス、戰時ニ於キマスル物價政策ノ根本ハ、左様ナ意味ニ於ケル低物價政策デアルト、斯様ニ思フノデアリマス

ノ成績ハ非常ニ擧ツテ居リマス、稅收ニ於キマシテモ、又官業收入ノ増加ニ於クナルカ分リマセヌ、ケレドモ、假リニ貯蓄ノ成績ノ點ヲ取ツテ見マシテモ、實ハ私ハ是ハ無論國民ノ努力、又政府ノ指導施策ノ宣シリ依ルモノアルコトハ勿論デアリマスルケレドモ、又斯ウ云フ見方モ出來ルヂヤナイカト、其ノ貯蓄增强ノ成績ノ百「バーセント」以上ニ上ルコトソレ自體ガ、或ル意味ニ於ケル所ノ「インフレ」ガソニ存しシテ居ルンヂヤナイカト、私ハ斯ウ云フ風ニ考ヘマス、サウバカリモ考ヘルノデヤナイガ、斯ウ云フ考ヘ方モシテ見ルノデアリマス、現實ノ問題トシテ、一體「インフレ」ハ防止サレテ居ルカ、此ノ政府ノ御努力ニモ拘ラズ一體ドンナ實情ヲ呈シテ居ルカト申シマスルト、御耳障リニナリマセウガ、現實ニ卯一個ガ一圓ニ賣ラレテ居ルノデス、鷄一羽ガ六十圓ト云フヤウナノガアル、コンナコトヲ言ツテ居ツタラ際限ガアリマセヌ、斯ウ云フヤウナ現實ノ事實、又一面ニ於キマシテ日銀券ノ發行高カラ見マシテモ、昨年末ニ於キマシテハ、前年比較七十三億圓以上ノ大激増ニナツテ居ル、ソレト同時ニ、其ノ公債擔保ノ貸出シモ亦前年ヨリハ五十五億圓以上ノ増加ニナツテ居ル、今年ノ豫算ヲ見マシテモ、大増加デアル、是ハ中島サンガ仰シャツテ、大臣ハサウデヤナイト仰シャイマシタケレドモ、兎ニ角中島彌團次サンヘ、此ノ増加ノ主要部分ガ、物價、運賃、勞賃ノ値上ニアルノダト、斯ウ見テ居ラレル、今度御提案ニナリマシタ

二八

勸業銀行、興業銀行ノ債券ノ發行限度
ノ擴張ナドヲ見マシテモ、何トシテモ
私ハ所期ノ通りノ「インフレ」防止ガ滿
點ニ出來上ツテ居ルモノハドウモ考
ヘラレナインデアリマス、ソコデ引括
メテ申シマスルト、私ハ斯ウ云フ風ニ
モ考ヘル、非常ナ御努力デアリマス、
又はモヤラナケレバナラナイノダガ、
併シ此「インフレ」防止ヲ通貨ノ面カラ
追ツテ居ツタノデハ、結局ハ十分ナル
效果ヲ、モウ舉げ得ナイコトニナルノ
デヤナイカト私ハ考ヘル、甚ダ失禮テ
アリマスケレドモ、此ノ點カラ申シマ
シテ、今回ノ増税ガ餘剩購買力ノ吸收
效果ヲ、モウ舉げ得ナイコトニナルノ
ト云フ點カラ、「インフレ」防止ト云フ
點カラ、一體ドレダケノ效果ガアルデ
アラウカ、是ハ金額的ニモ十八億圓デ
アル、今日ノ通貨ノ價值カラ申シマス
ト、十八億圓ハ一體ドレ程ノモノニナ
ルノダラウカ、況シヤ内容的ニ見マシ
テ、所謂新興階級ト云フモノヲ攔ムコ
トハ、是ハアチラコチラノ委員會ニ於
テモ質問モ出マスシ、又大藏大臣モ難
カシイト云フコトヲ認メテオイデニナ
リマスルガ、之ヲ攔ムト云フコトハ、
今度ノ稅制改正デ出來ルノカドウカト
云フコトヲ私ハ疑フノデアリマス、所
謂新興階級ニハ色々アリマセウガ、普
通ニ言ハレルノハ、例ノ勞働者階級ノ
コトデアリマス、一面ニハ又新興資本
家階級モアリマセウ、ソコヘ或ハ農民
ヲ加ヘテモ宜イデアラウ、所ガ是等ハ
カラ幾ラ源泉デ取上ガラマシテモ、
本當ハ物ヲ持ツテ居ル人ナンデアル、
今日ハ賣大名ニ買乞食ト言ハレテ居リ
ルトカニ轉嫁セラレル場合ガ實際多イ
マスガ、物ヲ持ツテ居ル者ガ強イ、ダ
ノデス、私ハ斯ウ云フ實例ヲ一つ申上

ゲテ置キマセウ、去年カラ此ノ新規級ヲ狙ツテ、課税セラレテ居ル部分が阿尔、自動車ノ運轉手ニ徵稅書ガ廻ツタ、所ガソレヲ稅務署ニ突返シタ、一面突返シテ置いて、荷主ノ所ニ行ツテ、政府ハ俺等ノ收入ト云フモノヲ認メタ、ダカラシテ、ソレダケノモノヲ運賃ヲ増セ、斯ウ言ツテ荷主ニ上ゲサセタ、斯様ニソレハ即座ニ轉嫁スル、況ソヤ私ノ聞イタ例デハ、拂ツテ置力ズニ一方ニ於テソレヲ受取ツタト云フヤウナ實例モアルノアリマシテ、是ハ租稅理論カラ見テモ今度ノ稅ノ建前ハ私ハドウカト思ヒマス、況ソヤ實際上今日ノ社會ノ實情カラ見テモ、是ハ容易ニ捉ヘ得ルモノデハナイト思ヒマス、サウシマスト結局全體トシテ餘剩購買力ヲ吸收スルコトハ餘程難カシイ、其ノ太宗デアリマスル增稅ニ於テモ、貯蓄ニ於テモ、中々攔ミ難イ、實際上申シマシテ、是ハ一人々々ノ懷口勘定ヲ知ラケレバ、ピツタリ嵌ツテ來ヌ、ソコデ或ルモノハ目玉ガ飛び出ル程過重ニ苦シム、一方ニ於テハスツスツト抜ケテ綽々タル餘裕ヲ持ツテ居ルモノガアル、ソレガ「プール」サレマシテワット渦ヲ巻ク、一方ニ於テハ何ト云ツテモ物ガ足りナイ、此ノ兩面カラ今日ノヤウナ實情ヲ呈シテ居ルノダト思ヒマス、ソレデ結論ヲ申シマスガ、ダカラシテコ、デ通貨ノ面カラ「インフレ」防止ニ行カレルノモ、無論是ハヤツテ貴ハナケレバナリマセヌガ、一面ニ於テハ、物資管理ノ方カラ「インフレ」防止ヲ御考ヘ下サランイカ、考ヘナケレバドウナルカト思フノデアリマス、所ガドンナ物資ヲ攏ムカ、制限ナク攏ムコトハ出來マヌ、即チ國民生活ニ直接ノ影響ヲ持ツ生活

必需物資、無論ソレニハ肥料トカ何トナリ
カ云フ直接ノ生産資材モ含マレテ、サ
ウ云フモノノ高度國家管理ト云フモノ
ヲ一ツ御考ヘ下サル、サウスレバ幾ラ
餘剩購買力ヲ懷ロニ持ツテ居テモ使ヒ
ヤウガナイ、使ヒヤウガナケレバ、ソ
レガ貯蓄増強ノ方ニ行クト云フコト
デ、期セズシテ貯蓄増強モ出來ルノデ
ハナイカ、ソレハ甕ニ入レテ隠シテ置
クナラバ別デアリマスガ、サウ云フヤ
ウナ馬鹿ラシイコトヲスル者ハナイ、
サウスレバ貯蓄ノ増強ニナツテ行クト
デハナイカト思ヒマス、無論斯ウ云フ
シヤルカモ知レマセヌガ、無論斯ウ云
フコトヲ行ヒマスト同時ニ補完政策ト
シテ之ニ伴フモノガアル、ソソナコト
ヲシテ百姓ガ折角收穫シタ米ヲ全部取
上ゲタノデハ、生產意欲ヲ落ス、ダカラ
シテ買上物資ハ一時的暫定的ニ相當
思ヒ切ツテ價格ヲ引上ゲテ、增產意欲
ノ低下ヲ防グ、サウシテ一遍外科のナ
手術ヲヤリ、洗濯ヲスル、私ハ斯ウ云
フヤウナ生活必需物資ノ國家管理ナド
ヲ終局ノ目的トシテハ無論考ヘテ居リ
マセヌガ、此ノ今日ノ段階ニ在ツテハ、
一時的手段トシテモ、一ツ御考ヘニ
ナツテハドウカト考ヘルノデアリマ
ス、ソレニ對スル補完政策ハ色々アリ
マスガ、茲ニハ申上ゲマセヌガ、斯ウ
云フ考ヘ方ニ付テ政府ハドウ云フ風ニ
御考ヘニナツテ居リマスカ、大藏當局
ニ於テ御答ヘヲ得レバ、是モ結構デア
リマスガ、主トシテ其ノ關係ノ農林當
局カラ御答ヘヲ得レバ、結構ダト思ヒ
ス、是デ大體終リマス

デ、傾聽ニ值スル點ガアルノデアリマス、既ニ米、麥或ハ甘譜 馬鉢薯ニ付テハ、一方ハ國家管理ノ實ヲ舉ゲテ居リマスシ、一方ハ又特別會計ヲ以テ殆んど國家管理ト同様ナ制度ヲ執ツテ居リマス、併シ諸國ノヤウナモノハ御承知ノ通り非常ニ腐り易イモノニアリマシテ、既ニ諸會社ニ對スル色々々ナ非難ガアルノデアリマシテ、國家管理ヲ行ツタカラト云ツテ必ズシモソレガ完全ニ遂行サレルカドウカ、殊ニ食糧部面カラ申シマスト、野菜其ノ他ノ方面ニマデ國家管理ヲ行フト云フコトハ、非常ニ腐り易イ品物デアルシ、多種多様デアルシ、斯ウ云フモノヲ一律ニ國家管理ノ中ニ入レルト云フコトハ考究ヲ要ル點ヂヤナカラウカト思ヒマヌノデアリマス、併シ其ノ增産部面カラ言ヒマスト、必ズシモ國家デ管理シタ方ガ宜シイカ、或ハ國家管理ト云フ手ヲ打タナイデ、外ノ方法デ増産ヲ圖ツタ方ガ宜イカ、私共トシテハマダ増産ヲ圖ルニ相當打ツベキ手ガ殘サレテ居ル、サウ云フ手ヲ打ツテモ遲クハナイデヤナイカト云フ風ニ考ヘマスノデ、今生活必需物資ニ對シテ國家管理ヲ行フコトハ農商省トシテハ考ヘテ居リマセヌ、左様御承知ヲ願ヒマス〇池本委員

程左様ニ實際ノ實情ガ混雜ノ狀態ヲ呈シテ居ルノが事實デアリマスカラ、之ヲオヤリニナラヌノナラナラヌデ、斯ウ云フコトヲ考へナクテモ宜イヤウデレバナラヌト思ヒマス、無論米ナソカハ國家管理ノヤウニナツテ餘程宜ク行ツテ居リマスガ、ソレデサヘモ尙ホ零レガアル、ダカラ私ガ高度トカ完全トカ力言フノハ、一旦ヤレバ完全ニ水モ漏ラサヌ管理ヲヤラナケレバナラヌ、ソレガ抜ケル、中途半端ナソデス、ダカラ其ノ意味カラハ、米ナソカハ宜イガ、ソレ以外ノ統制ガ一體何「パーセント」實際上出來テ居ルカ、ダカラ今日ヤツテ居ル結果ガ斯ウナツテ居ルカラト云フヤウナコトハ目安が狂ツテ居ルト思ヒマス、ダカラソレ等ノ點ヲ彼此列御勘案下サイマシテ——要スルニ國民生活ハ臺閣ノ高キニ居ラレテモ御承知ナノデス、御承知ダカラ、自分ノ地位カラサウ云フコトヲ仰シヤルノモ無理ハナイト思ヒマスガ、能ク御存知ナラ御存知ノヤウニ何トカシテ戴カナケレバ、陛下ノ重責ヲ預ツテ居ル者トシテ申譯ナイデヤナイカ、御忙シイ方ガ御歸リデアリマスカラ申上げマスガ、此ノ間私ハ國民生活ノ調査ニ岐阜縣ト愛知縣ニ參リマシタ、私ハ或ル意味ニ於テ一大發見ヲシテ來タト思フノデス、ソレハ飛驒ノ高山ニ參リマシタ、御承知ノヤウニ維新勿々明治ノ初年ニレハ水戸ノ勤皇ノ志士武田耕雲齋ノ流レヲ汲ンダ人ダサウデアリマス、其ノ人が非常ニ善政ヲ施イタ、所ガ或ル朝

子ガ死ソデ居ツタダラウト思フ、ソレヲ聞イタ梅村知事ハ天ヲ仰イデ長大息シタ、種々俺ハ自分ノ管下ノ民政ニ付

テ朝夜努力ヲ傾ケテ居ル、ダカラシテ斯ウ云フ事柄ガモウ起ルベキ筈ハナイト考ヘテ居ツタガ、尙ホ斯ウ云フコトニナツテ居ルカ、是ハ自分ノ努力ガ足

ラナイノダ、斯ウ言ツテ、其ノ妻子ノ墓ヲ拵ヘタ、サウシテ自ラ其ノ碑文ヲ書イタ、其ノ終ヒニハソレガ良イカ悪イカハ知リマセヌガ、罪人梅村某ト書

イテ、今其ノ墓ガ残ツテ居ルト云フコトデアリマス、私ハ自分ノ行フ政治、其ノ持場ニ對シテノ幹持ヲ思ヒマス、自信ヲ思ヒマス、サウシテサウ云フ環境ニ立ツタ場合ニハソレニ對スル所ノ反省ト責任感ヲ持ツ、七千萬ノ者ガ皆

此ノ考ヘヲ持ツテ居ルナラバ、驕米何ゾ恐ルルニ足ラノ、立ドコロニ勝チ得ルノデアリマス、今ノ爲政家ガ此ノ矜持、反省ヲ持ツテ居ラヌトハ決シテ申サナイノデアリマスガ、希クハ之ヲ他山ノ石トシテ、眞剣ニ總テノコトヲ御考ヘ下サツテ、ヨリ善キ政治ノ行ハレマスヤウニ特ニ御願ヒヲ申上ゲタイト思ヒマス、是テ私ハ大藏當局ニ對スル所ノ質問ト農商省ニ對スル質問ハ終ルコトニ致シマス

○久山委員長 御誥リ致シマス、本日理事安倍寛君ガ辭任サレマシタ、就キマシテハ理事ノ選舉ヲ行ハナケレバナリマセヌガ、前例ニ依リマシテ委員長ヨリ指名致シタイト思ヒマス、御異議ハアリマセヌカ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○久山委員長 ソレデハ永山忠則君ヲ指名致シマス、尙ホ都合ニ依リマシテ明日ハ一日休ミマシテ、明後日ノ午前十時カラ本委員會ヲ開會致シタイト思

ヒマスガ、詳細ノ時間ニ付キマシテハ公報ヲ以テ御通知申上ゲマス、本日ハ之ヲ以チマシテ散會致シマス

午後四時四十三分散會

昭和二十年一月三十日印刷

昭和二十年一月三十日發行

衆議院事務局

印刷者 印 刷 局